

平成31年度
宮崎県循環型社会推進計画進行管理事業に係る
実態調査報告書
(平成30年度実績)

令和2年3月

株式会社 グリーンエコ

目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査に関する基本的事項	1
1. 調査対象期間	1
2. 調査対象廃棄物	1
3. 調査対象業種	2
4. 調査対象区域	4
5. 発生・排出及び処理・処分状況	6
第3節 調査の方法	8
1. 調査方法の概要	8
2. 標本調査について	9
第4節 調査結果の利用上の留意事項	11
1. 産業廃棄物の種類の区分について	11
2. 委託中間処理後の残さ量について	11
3. 建設業の地域別発生量について	11
4. 単位と数値に関する処理	11
第5節 標本抽出・回収結果	12
第2章 産業廃棄物の現状	14
第1節 家畜ふん尿を除く調査結果の概要	14
第2節 発生・排出状況（家畜ふん尿を除く）	15
1. 種類別の発生・排出状況	15
2. 業種別の発生・排出状況	16
3. 地域別の発生・排出状況（農業を除く）	17
第3節 処理・処分状況（家畜ふん尿を除く）	18
1. 処理・処分状況の概要	18
2. 自己中間処理状況	20
3. 委託処理状況	21
4. 資源化、再生利用状況	22
5. 最終処分状況	24
第4節 家畜ふん尿を含む調査結果（農業を含む）	25
1. 種類別の発生・排出状況	25
2. 業種別の発生・排出状況	26

第5節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況(排出量が1万トン以上の業種)	27
1. 農業(家畜ふん尿を除く)	27
2. 建設業	28
3. 製造業	29
4. 電気・水道業	30
5. 卸・小売業	31
第6節 特別管理産業廃棄物	32
1. 発生・排出状況	32
2. 処理・処分状況	34
第7節 産業廃棄物の移動状況(第1次産業を除く)	36
1. 搬出量の移動状況	36
2. 委託処理量の移動状況	37
3. 広域の移動状況(県外からの搬入)	39
第3章 産業廃棄物の推移と目標の達成状況	42
第1節 計画の現況値(平成25年度)との比較	42
1. 排出状況の比較(家畜ふん尿を除く)	42
2. 処理・処分状況の比較(家畜ふん尿を除く)	43
第2節 目標の達成状況	44
1. 家畜ふん尿を除く目標値に対する評価	44
2. 家畜ふん尿を含む目標値に対する評価	46
3. 目標達成率と評価及び今後の対応	48

統計表

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、平成30年度の宮崎県内における産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を把握するとともに、平成28年3月に策定した「宮崎県環境計画（改定計画）」の産業廃棄物に係る目標（平成32年度）の進捗状況を評価・検討することを目的とする。

第2節 調査に関する基本的事項

1. 調査対象期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間

2. 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に規定する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）とし、表1-2-1に示す分類に区分した。なお、これら産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて細区分し、分類が困難な廃棄物（感染性産業廃棄物、建設混合廃棄物、シュレッターダスト等）については、「その他産業廃棄物」として捉えた。

表1-2-1 調査対象廃棄物（その1）

産業廃棄物の分類	()内は、細区分。
①燃え殻	
②汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）	
③廃油（一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物類）	
④廃酸	
⑤廃アルカリ	
⑥廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）	
⑦紙くず	
⑧木くず	
⑨繊維くず	
⑩動植物性残さ	
⑪動物系固形不要物	
⑫ゴムくず	
⑬金属くず	
⑭ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
[注：本報告書では「ガラス・コンクリート・陶磁器くず」と略した]	
⑮鉱さい	
⑯がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他）	
⑰ばいじん	
⑱家畜ふん尿	
⑲家畜の死体	
⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの [注：本報告書では「13号廃棄物」と略した]	
※上記の種類に分類できない廃棄物等は「その他産業廃棄物」とした。	

表 1-2-1 調査対象廃棄物（その2）

特別管理産業廃棄物の分類
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）
②廃酸（pHが2.0以下の廃酸）
③廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）
④感染性廃棄物
⑤廃石綿等
⑥特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

また、調査に当たって、有償物・副産物、発生時の廃棄物の種類等については、下記に示す取り扱いをした。

- (1) 法令上は廃棄物とされていないもの、いわゆる有償物（事業場内等で生じたものであって、中間処理されることなく、他者に有償で売却したもの及び他者に有償で売却できるものを自己利用したもの）については、今後の社会情勢等の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、調査対象とした。
- (2) 紙くず、木くず（木製パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包の木材を除く）、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物は、廃棄物処理法で産業廃棄物となる業種（動物系固形不要物は、と畜場及び食鳥処理場に限り）が指定されており、指定された業種以外で生じた上記廃棄物については、事業系一般廃棄物となるため、原則として調査対象から除外した。
- (3) 下水道または公共用水域へ直接放流することを目的として事業場内で、酸性またはアルカリ性を呈する廃水を中和処理（一般の廃水処理）している場合は、中和処理後に生じた沈でん物（汚泥）を発生時の産業廃棄物として捉え、中和処理前の酸性またはアルカリ性廃水は、調査対象から除外した。
- (4) 事業場内で産業廃棄物を焼却処理した後に生じる燃え殻、ばいじんについては、焼却処理前の産業廃棄物の種類（発生時の種類）で捉えた。

3. 調査対象業種

調査対象業種は、「日本標準産業分類（総務省）」の業種区分を基本とし、表1-2-2に示す業種を調査対象とした。

また、調査対象業種の名称については、本報告書では略称で統一し表記した。

なお、統計表については、巻末の統計資料に示すとおりである。

表1-2-2 調査対象業種

業種名	略称
農林業	農林業
農業	農業
林業	林業
漁業	漁業
鉱業、採石業、砂利採取業	鉱業
建設業	建設業
製造業	製造業
食料品製造業	食料品
飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・飼料
繊維工業	繊維
木材・木製品製造業(家具を除く)	木材・木製品
家具・装備品製造業	家具・装備品
パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙
印刷・同関連業	印刷
化学工業	化学
石油製品・石炭製品製造業	石油・石炭
プラスチック製品製造業	プラスチック
ゴム製品製造業	ゴム
なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革
窯業・土石製品製造業	窯業・土石
鉄鋼業	鉄鋼
非鉄金属製造業	非鉄金属
金属製品製造業	金属
はん用機械器具製造業	はん用機器
生産用機械器具製造業	生産用機器
業務用機械器具製造業	業務用機器
電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品等
電気機械器具製造業	電気機器
情報通信機械器具製造業	情報通信機器
輸送用機械器具製造業	輸送機器
その他の製造業	その他
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・水道業
電気業	電気業
ガス業	ガス業
熱供給業	熱供給業
上水道業	上水道業
下水道業	下水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業、郵便業	運輸・郵便業
卸売業、小売業	卸・小売業
不動産業、物品賃貸業	不動産業、物品賃貸業
学術研究、専門・技術サービス業	学術研究、専門・技術サービス業
宿泊業、飲食サービス業	飲食・宿泊
生活関連サービス業、娯楽業	生活関連・娯楽
教育、学習支援業	教育・学習支援
医療、福祉	医療、福祉
複合サービス事業	複合サービス事業
サービス業(他に分類されないもの)	サービス
公務	公務

4. 調査対象区域

調査対象区域は、宮崎県全域とした。なお、本調査では産業廃棄物の発生等の地域特性を把握するため、県内を表1-2-3に示す6地域に区分した。

表1-2-3 調査対象地域区分表

地 域 名	市 町 村 名
宮崎県北部地域	延岡市、日向市 東臼杵郡（門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村） 西臼杵郡（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）
西都・児湯地域	西都市 児湯郡（高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町）
宮崎・東諸県地域	宮崎市 東諸県郡（国富町、綾町）
日南・串間地域	日南市、串間市
都城・北諸県地域	都城市 北諸県郡（三股町）
西諸県地域	小林市、えびの市 西諸県郡（高原町）

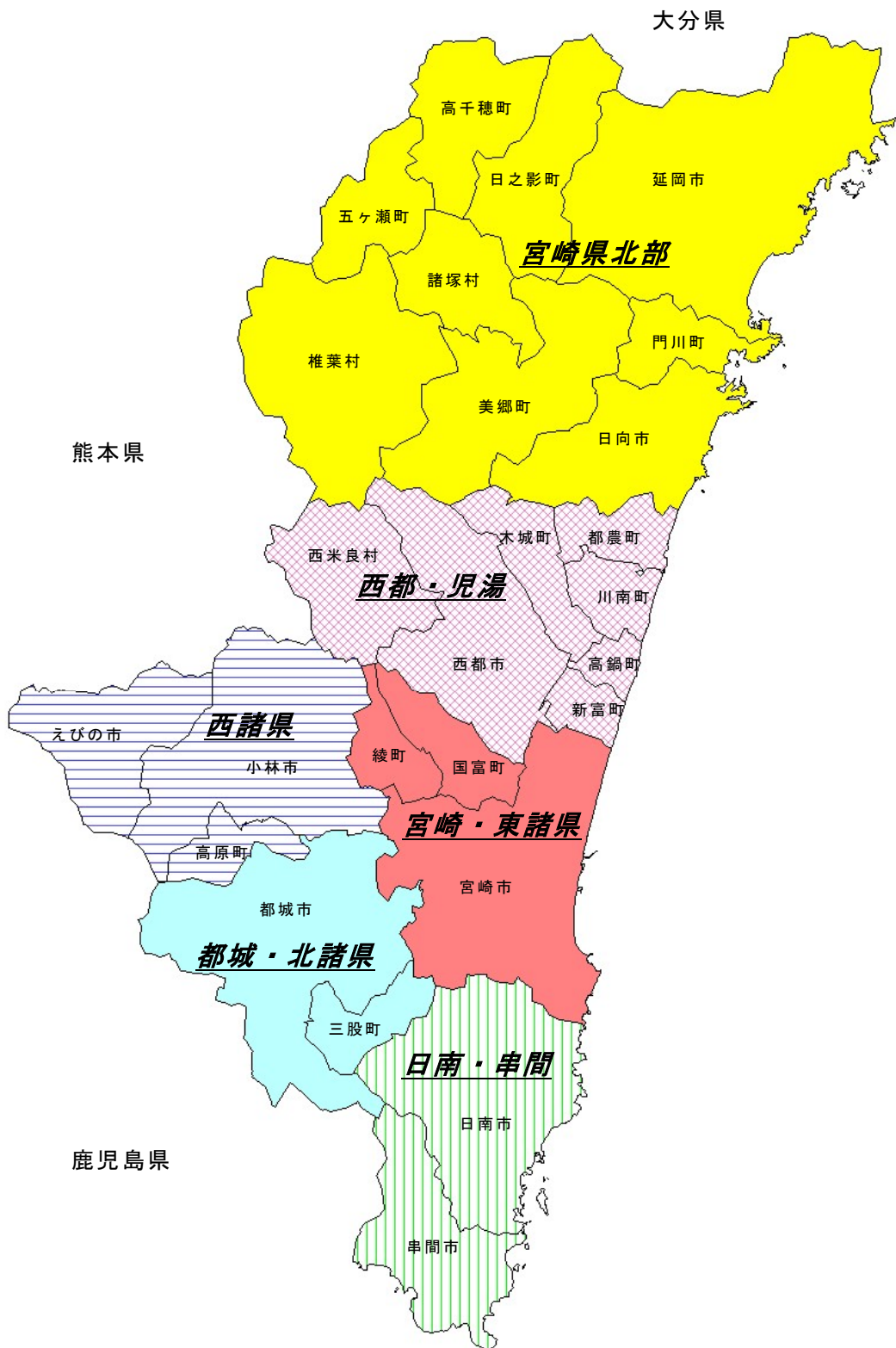


図1-2-1 調査対象地域区分

5. 発生・排出及び処理・処分状況

調査の集計・推計結果は、図1-2-2に示す発生・排出及び処理・処分状況の流れ図にとりまとめた。

なお、この流れ図に用いた各項目の定義については、表1-2-4に示すとおりである。

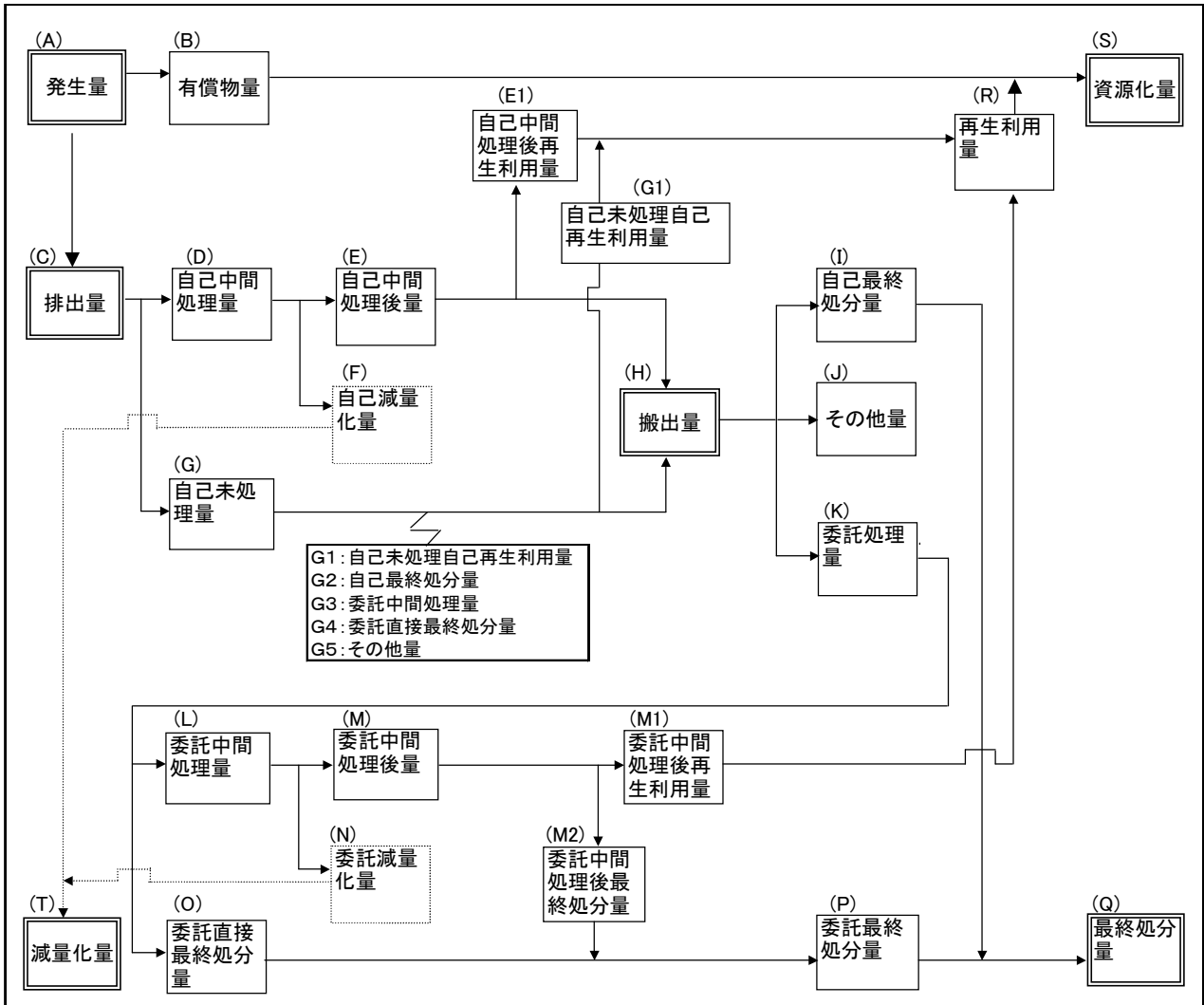


図1-2-2 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図

表1-2-4 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量（他者に有償で売却できるものを自己利用した場合を含む）
(C) 排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	排出量のうち、排出事業者自らが中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分した量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理した量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	その他量のうち、自己未処理のその他量
(E) 自己中間処理後量	自己で中間処理した後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後量のうち、自ら利用し、または他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	自己中間処理量から自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	自己最終処分量、その他量及び委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	事業場内等に保管されている量等
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を他者に委託した量
(L) 委託中間処理量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(M) 委託中間処理後量	委託中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	委託中間処理量から委託中間処理後量を差し引いた量
(O) 委託直接最終処分量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者または処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	有償物量と再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者または処理業者等の中間処理により減量された量

第3節 調査の方法

1. 調査方法の概要

本調査は、郵送によるアンケート調査と県保有の既存資料に基づく資料調査等をベースとしており、アンケート調査によって得られた産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容（集計値）と産業廃棄物の発生量に関連した指標（活動量指標：従業者数、製造品出荷額等）を基に、県内における産業廃棄物の発生量等の推計を行うものである。

なお、調査にあたっては、発生事業場（業種）の特性等を勘案し、表 1-3-1 に示す調査方法を基本とした。

表 1-3-1 調査方法の概要

業種	調査方法			備 考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農業			○	家畜ふん尿、家畜の死体、農業用廃プラスチック類を調査対象廃棄物とし、既存資料を用いて調査する。
林業		○		
漁業		○		
鉱業		○		
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿等を基に、火力発電所、ガス製造所、浄水場、下水処理場を全数抽出し、すべての施設より回答を得ることを原則とする。 このため、活動量指標を用いた原単位による推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いる。
情報通信業		○		
運輸業		○		
卸・小売業		○		
飲食店、 宿泊業		○		
医療、福祉		○		
学習支援業		○		
複合サービス 事業		○		
サービス業		○		
公務	○			自衛隊

注 1) 全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するため、特定の業種あるいは事業所等を調査対象として全数を抽出・回収し、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注 2) 標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からのアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。

注 3) 資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

2. 標本調査について

(1) 標本抽出方法

標本（概ね 1,000 件）の抽出に当たっては、産業廃棄物関連データ（平成 30 年度実績：多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書、産業廃棄物管理票交付等状況報告書）をもとに、業種別、種類別に産業廃棄物の排出量の多い事業所（寄与率が高い）を選定し、「平成 30 年度宮崎県循環型社会推進計画進行管理事業に係る実態調査報告書」の抽出事業所（1,126 件）との精査（種類別上位排出量の漏れ、業種別事業所数のバランス等）を行った上で、総務省統計局の事業所母集団情報（平成 29 年次フレーム（速報））から該当事業所を有意に抽出した。

(2) アンケート調査項目

調査票の項目や形式は、業種による産業廃棄物の発生及び処理・処分状況等の特性を考慮し、①建設業、②鉱業、製造業、電気・水道業、公務、③医療、福祉、④林業、漁業、情報通信業、卸・小売業、飲食・宿泊業、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業、⑤運輸・郵便業、卸・小売業のうち自動車の整備を行う業種、⑥産業廃棄物処理業者の 6 種類とした。なお、排出事業者の事務処理軽減を目的として、電子マニフェストを採用し、提出している事業所に関しては、電子マニフェスト報告分以外の記載で済むよう、電子マニフェスト用調査票を別途作成。電子マニフェストでは把握できない項目（活動量指標、有償物量、自己処理量等）のみ記載する電子マニフェスト提出事業所用調査票（建設業用、建設業以外用）を 2 種用意した。

(3) 発生原単位の作成と調査対象全体の発生量の推計方法

1) 発生原単位の算出

発生原単位とは、活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量を示すものであり、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別の集計産業廃棄物量と業種別の集計活動量指標から、図 1-3-1 に示す A 式によって算出する。

2) 調査対象全体の発生量の推計方法

1) で算出された発生原単位と、業種別の調査対象全体（最新年度の母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図 1-3-2 に示す B 式によって調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

①発生原単位の算出		
A式	$\alpha = W / O$	α : 産業廃棄物の発生原単位 W : 標本に基づく集計産業廃棄物発生量 O : 標本に基づく集計活動量指標
②調査対象全体の発生量の推計方法		
B式	$W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物発生量 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図1-3-1 発生原単位と発生量の推計方法

3) 活動量指標

母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表1-3-2 業種別の活動量指標

業種	活動量指標	出典
林業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
漁業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
鉱業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（国土交通省総合政策局）
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査（経済産業省）
情報通信業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
運輸・郵便業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
卸・小売業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
飲食・宿泊業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
医療，福祉 （病院）	従業者数 （病床数）	事業所母集団情報（総務省統計局） （医療施設調査病院報告書：厚生労働省統計情報部）
教育・学習支援業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
複合サービス事業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
サービス業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）

第4節 調査結果の利用上の留意事項

本調査結果を利用する際の留意事項については、以下のとおりである。

1. 産業廃棄物の種類の区分について

本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す3段階で設定し、表記している。

1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業場で中間処理され、変化した処理後の種類 例1；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 例2；廃酸 →（中和）→〔汚泥〕 注）1段階時点の種類と事業場の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

なお、解析等の都合上、中間処理後も廃棄物の種類を変化させずに集計した場合（例：発生時の種類のまま；木くず→（焼却）→木くず）は、図表中に「種別：無変換」と表記した。

2. 委託中間処理後の残さ量について

委託中間処理後の残さ量は、アンケートの回答結果を用いることを原則とした。なお、残さ量の回答が無いものについては、産業廃棄物の種類ごとに、委託中間処理方法による残さ率から電算処理を行い算出した。

3. 建設業の地域別発生量について

建設業における地域別の産業廃棄物の発生量については、アンケートで得られた工事現場ごとの発生量の割合を基に、県全体の推計値を按分することにより算出した。

4. 単位と数値に関する処理

（1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千 t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

（2）報告書における数値の処理

本文に記載されている千トン表示及び構成比（%）の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の数値の計とが一致しないものがある。

なお、本文の図表及び巻末統計表の空欄は、該当値がないものを示す。

第5節 標本抽出・回収結果

今回の調査では、産業廃棄物関連データ（平成29年度実績）をもとに、業種別、種類別に産業廃棄物の排出量の多い事業所を選定し、1,123件を総務省統計局の事業所母集団情報（平成29年次フレーム（速報））から有意抽出（調査対象事業所9,987に対する抽出率11.2%）し、アンケート調査を実施した。

回収された調査票は、915件（回収率82.1%）で、このうち廃業・休業、及び建設業においては元請工事が無いなどの調査票を除いた有効調査票は、903件となっている。

回収された調査票等から集計された廃棄物量は1,665千トンとなっており、原単位法により推計された廃棄物量(2,306千トン)に対する捕捉率は72.2%である。

標本の抽出及び回収結果は、表1-5-1、表1-5-2に示すとおりである。

表1-5-1 標本抽出・回収結果

業種	区分	(A) 調査対象事業所数	(B) 抽出事業所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回収事業所数	(E) 宛先不明等	(F) 回収率 (D)÷((B)-(E))	(G) 有効調査票数
合計		9,987	1,123	11.2%	915	9	82.1%	903
林業		91	3	3.3%	3	0	100.0%	3
漁業		123	7	5.7%	5	0	71.4%	4
鉱業		6	5	83.3%	5	0	100.0%	5
建設業		2,189	202	9.2%	172	1	85.6%	169
製造業		1,602	401	25.0%	331	2	83.0%	327
電気・水道業		58	43	74.1%	38	0	88.4%	38
情報通信業		145	17	11.7%	11	1	68.8%	9
運輸・郵便業		531	46	8.7%	35	1	77.8%	35
卸・小売業		2,918	64	2.2%	53	2	85.5%	52
不動産業、物品賃貸業		161	5	3.1%	4	0	80.0%	3
学術研究、専門・技術サービス業		264	12	4.5%	11	0	91.7%	11
飲食・宿泊		228	8	3.5%	4	0	50.0%	4
生活関連・娯楽			0	-	0	0	-	0
教育・学習支援		16	5	31.3%	5	0	100.0%	5
医療、福祉		1,276	73	5.7%	67	1	93.1%	67
複合サービス事業		132	7	5.3%	5	0	71.4%	5
サービス		244	222	91.0%	163	1	73.8%	163
公務		3	3	100.0%	3	0	100.0%	3

注) サービス業は、処理業者を含む。

表1-5-2 指標カバー率と捕捉率

業種	区分	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)
		集計活動量指標	母集団の活動量 指標値	指標カバー率 (H)÷(I)	集計廃棄物量 <t>	推定廃棄物量 <t>	捕捉率 (K)/(L)
合計		-	-	-	1,665,313	2,306,154	72.2%
林業		156	2,275	6.9%	0	0	-
漁業		72	858	8.4%	0	0	-
鉱業		70	78	89.7%	678	755	89.7%
建設業		16,673	40,663	41.0%	275,586	583,267	47.2%
製造業		102,116	168,242	60.7%	797,881	1,088,280	73.3%
電気・水道業		-	-	-	580,733	580,733	100.0%
情報通信業		1,108	4,389	25.2%	92	150	61.7%
運輸・郵便業		2,235	4,345	51.4%	402	3,086	13.0%
卸・小売業		6,557	51,432	12.7%	3,933	28,481	13.8%
不動産業、物品賃貸業		105	2,130	4.9%	82	1,667	4.9%
学術研究、専門・技術サービス業		435	6,831	6.4%	314	444	70.8%
飲食・宿泊		1,159	5,694	20.4%	299	1,467	20.4%
生活関連・娯楽		0	0	-	0	0	-
教育・学習支援		1,418	2,550	55.6%	223	401	55.6%
医療、福祉		1,656	37,638	4.4%	3,081	8,064	38.2%
病院		11,397	19,029	59.9%			
複合サービス事業		1,077	3,631	29.7%	123	413	29.7%
サービス		503	3,333	15.1%	1,483	8,024	18.5%
公務		2,670	6,102	43.8%	403	922	43.8%

(活動量指標の内容)建設業:元請完成工事高(千万円) 製造業:製造品出荷額等(千万円)
医療、福祉のうち、病院:病床数(床)、その他の業種:従業者数(人)
※表中の数値は、四捨五入の関係で収支が合わない場合がある。

第2章 産業廃棄物の現状

平成30年度の宮崎県内における産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況は、以下のとおりである。

第1節 家畜ふん尿を除く調査結果の概要

平成30年度の1年間に宮崎県で発生した産業廃棄物の発生量（家畜ふん尿を除く）は2,323千トンであり、有償物量の107千トン（発生量の4.6%）を除いた産業廃棄物の排出量は2,216千トン（95.4%）となっている。

排出量のうち、脱水や焼却など中間処理された量は2,092千トン（排出量の94.4%）、中間処理を経ず直接再生利用された量は14千トン（0.6%）、直接最終処分された量は110千トン（5.0%）等となっている。一方、中間処理による減量化量は1,271千トン（57.4%）で、再生利用量は802千トン（36.2%）、最終処分量は143千トン（6.4%）となっている。

排出量ベースで見ると、中間処理によって1,271千トン（排出量の57.4%）が減量化され、802千トン（36.2%）が再生利用されることで、結果的に33千トン（1.5%）が最終処分されている。

なお、事業場内での保管等のその他量は、未処理及び中間処理後を合わせて千トン未満となっている。

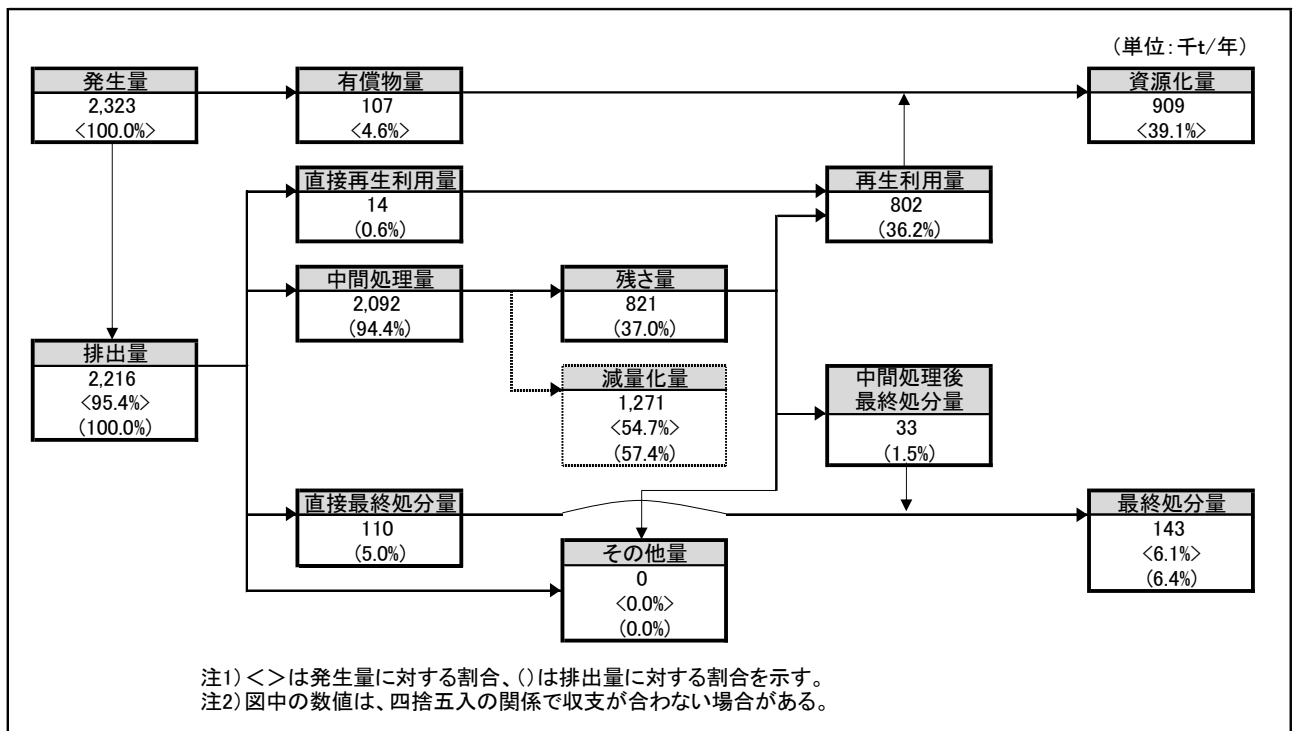


図2-1-1 発生・排出及び処理・処分の状況（家畜ふん尿を除く）

第2節 発生・排出状況（家畜ふん尿を除く）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図2-2-1～3に示すとおりである。

発生量（2,323千トン）を種類別にみると、汚泥が931千トン（発生量の40.1%）で最も多く、次いで、がれき類が484千トン（20.8%）、廃酸が309千トン（13.3%）、木くずが156千トン（6.7%）、廃プラスチック類が60千トン（2.6%）、廃油が52千トン（2.2%）等となっており、これら6種類で発生量の85.7%を占めている。

排出量（2,216千トン）を種類別にみると、汚泥が930千トン（排出量の42.0%）で最も多く、次いで、がれき類が484千トン（21.8%）、廃酸が308千トン（13.9%）、木くずが106千トン（4.8%）、廃プラスチック類が53千トン（2.4%）、ばいじんが52千トン（2.3%）等となっており、この6種類で排出量の87.2%を占めている。

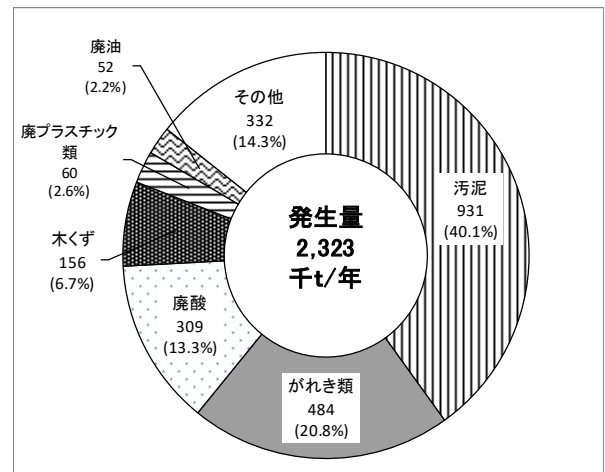


図2-2-1 種類別の発生量 (家畜ふん尿を除く)

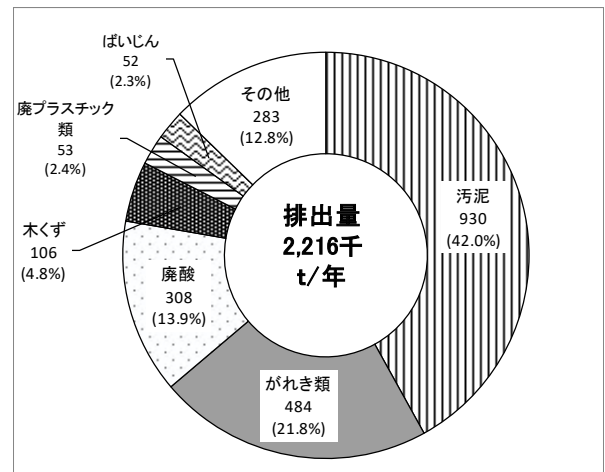


図2-2-2 種類別の排出量 (家畜ふん尿を除く)

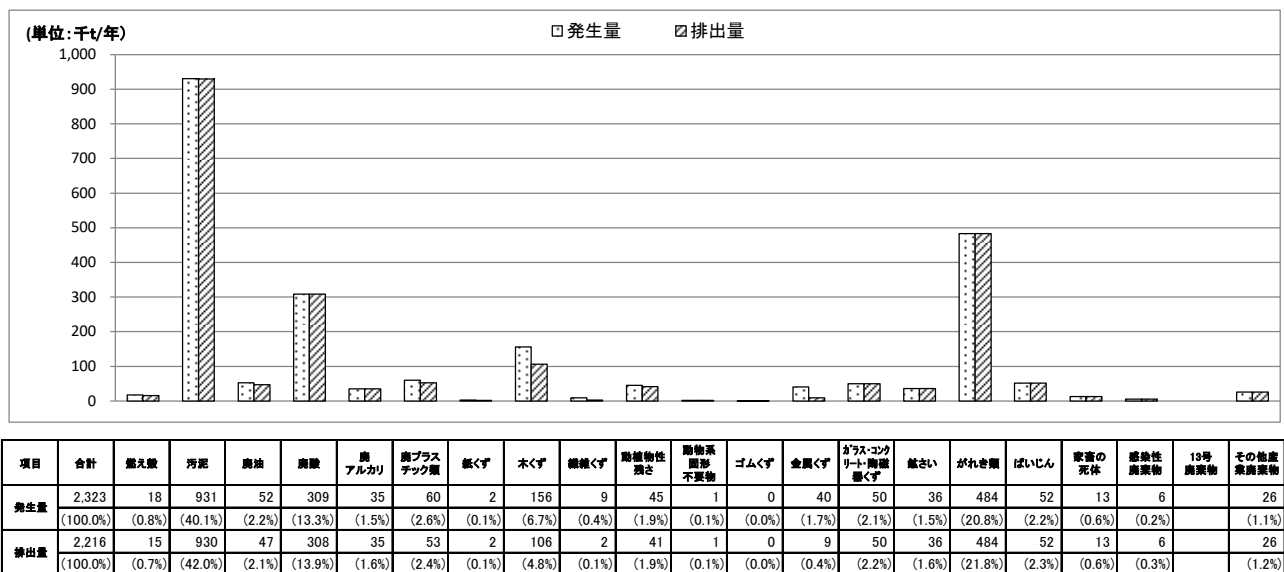


図2-2-3 種類別の発生量、排出量 (家畜ふん尿を除く)

第2章 産業廃棄物の現状

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図2-2-4～6に示すとおりである。

発生量(2,323千トン)を業種別にみると製造業が1,088千トン(発生量の46.8%)で最も多く、次いで、建設業が583千トン(25.1%)、電気・水道業が581千トン(25.0%)等となっており、この3業種で発生量の97.0%を占めている。

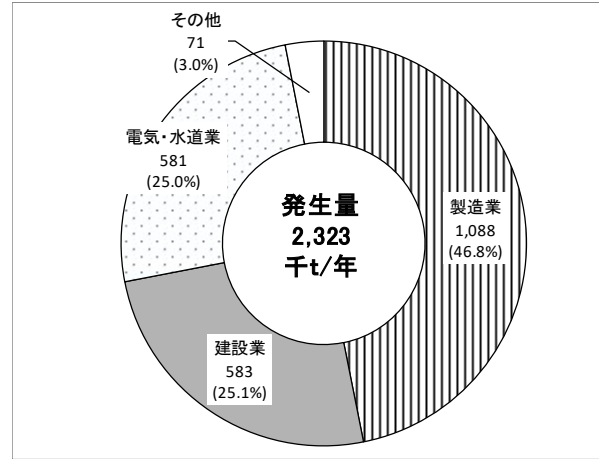


図2-2-4 業種別の発生量 (家畜ふん尿を除く)

排出量(2,216千トン)を業種別にみると、製造業が988千トン(排出量の44.6%)で最も多く、次いで、建設業が580千トン(26.2%)、電気・水道業が578千トン(26.1%)等となっており、この3業種で排出量の96.9%を占めている。

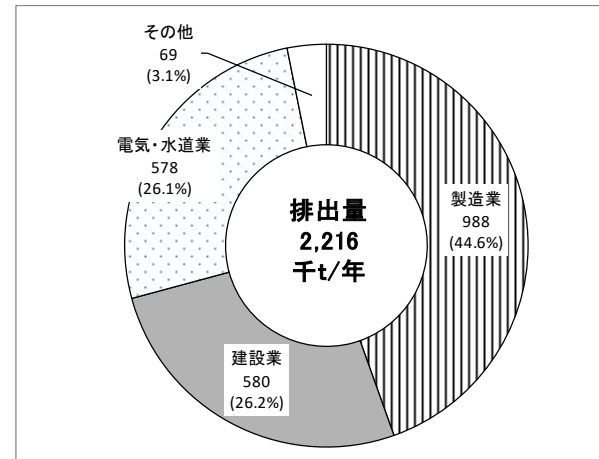
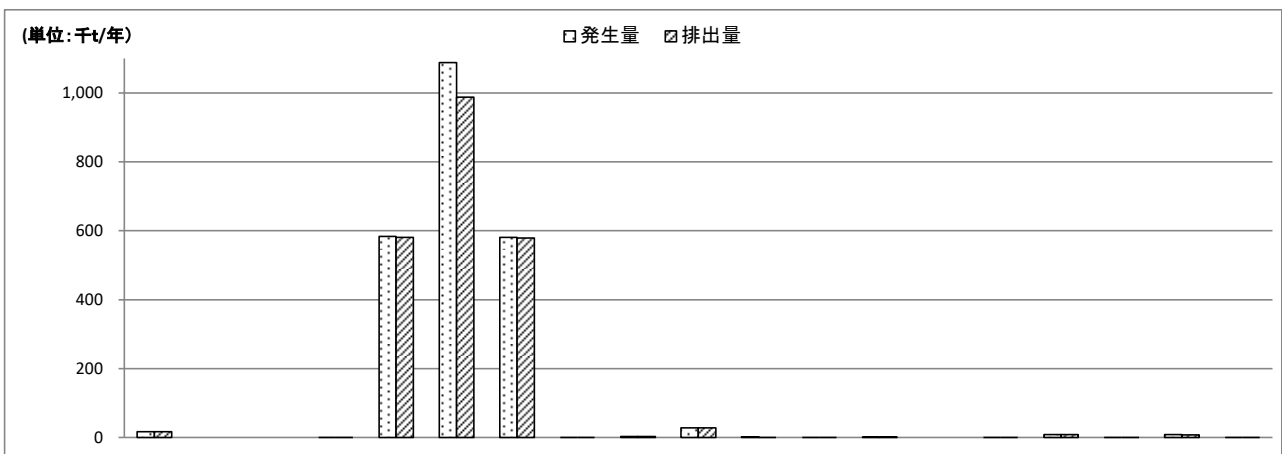


図2-2-5 業種別の排出量 (家畜ふん尿を除く)



項目	合計	業種																		
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸・小売業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	飲食・宿泊	生活関連・娯楽業	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス事業	サービス	公務
発生量	2,323 (100.0%)	17 (0.7%)			1 (0.0%)	583 (25.1%)	1,088 (46.8%)	581 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	28 (1.2%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)		0 (0.0%)	8 (0.3%)	0 (0.0%)	8 (0.3%)	1 (0.0%)
排出量	2,216 (100.0%)	17 (0.8%)			1 (0.0%)	580 (26.2%)	988 (44.6%)	578 (26.1%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	28 (1.3%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)		0 (0.0%)	8 (0.4%)	0 (0.0%)	8 (0.4%)	1 (0.0%)

図2-2-6 業種別の発生量、排出量 (家畜ふん尿を除く)

3. 地域別の発生・排出状況（農業を除く）

地域別の発生・排出状況は、図2-2-7～9に示すとおりである。

発生量（2,323千トン）を地域別にみると、宮崎県北部が643千トン（発生量の27.7%）で最も多く、次いで宮崎・東諸県が638千トン（27.5%）、都城・北諸県が561千トン（24.2%）、西都・児湯が204千トン（8.8%）、日南・串間が152千トン（6.6%）、西諸県が124千トン（5.3%）となっている。

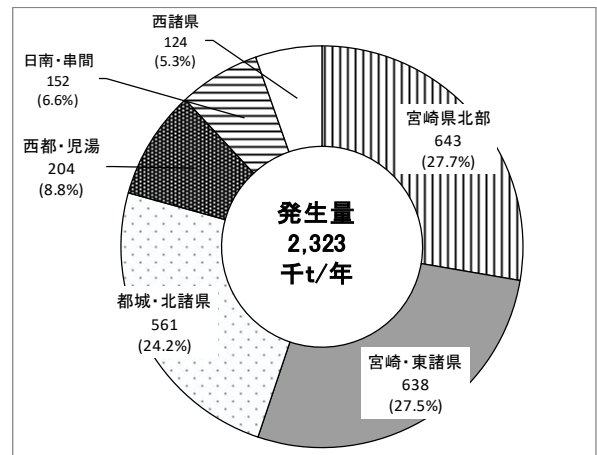


図2-2-7 地域別の発生量（農業を除く）

排出量（2,216千トン）を地域別にみると、宮崎県北部が627千トン（排出量の28.3%）で最も多く、次いで、宮崎・東諸県が625千トン（28.2%）、都城・北諸県が516千トン（23.3%）、西都・児湯が191千トン（8.6%）、日南・串間が136千トン（6.1%）、西諸県が122千トン（5.5%）となっている。

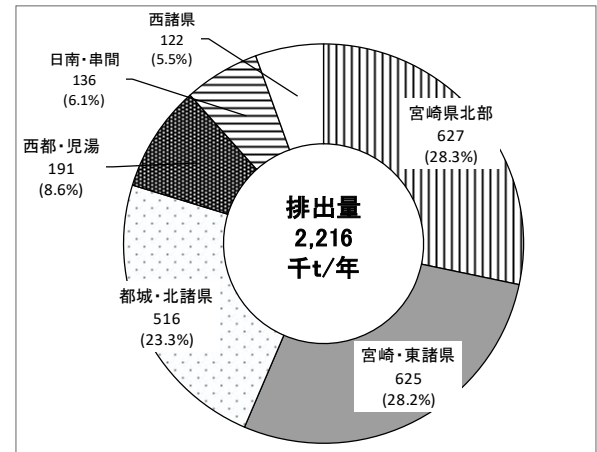


図2-2-8 地域別の排出量（農業を除く）

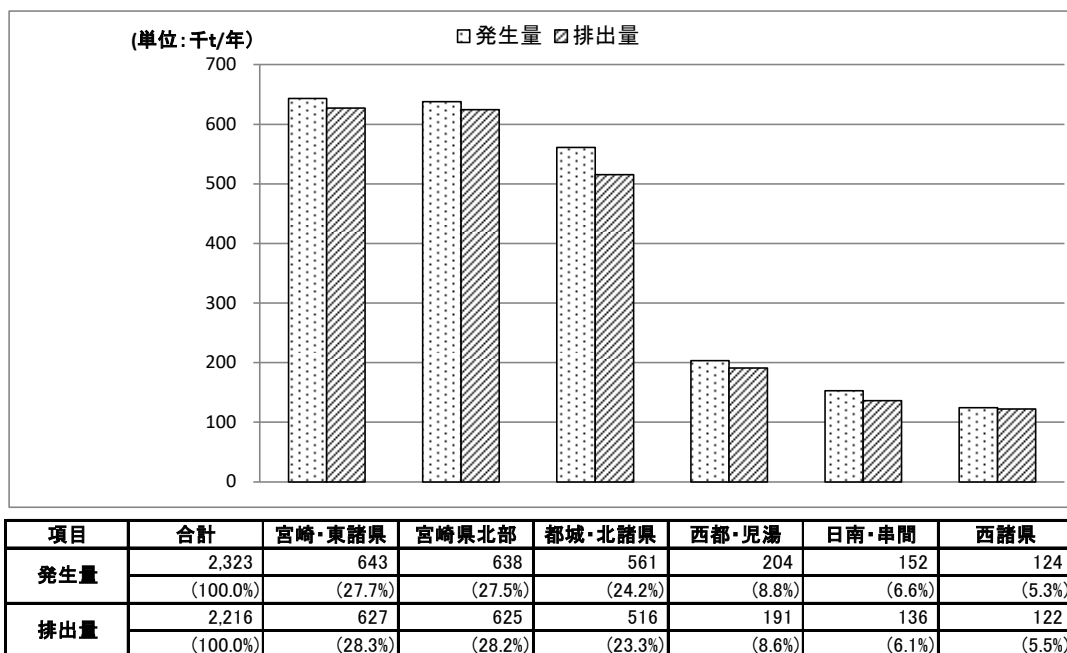


図2-2-9 地域別の発生量、排出量（農業を除く）

第3節 処理・処分状況（家畜ふん尿を除く）

1. 処理・処分状況の概要

産業廃棄物の発生・排出から処理・処分の流れは、図2-3-1に示すとおりである。平成30年度の処理・処分状況をみると、排出量2,216千トンのうち、再生利用量は802千トン（36.2%）、中間処理による減量化量は1,271千トン（57.4%）、最終処分量は143千トン（6.4%）、保管等のその他量は千トン未満となっている。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合を種類別、業種別にみると、図2-3-2、3に示すとおりである。

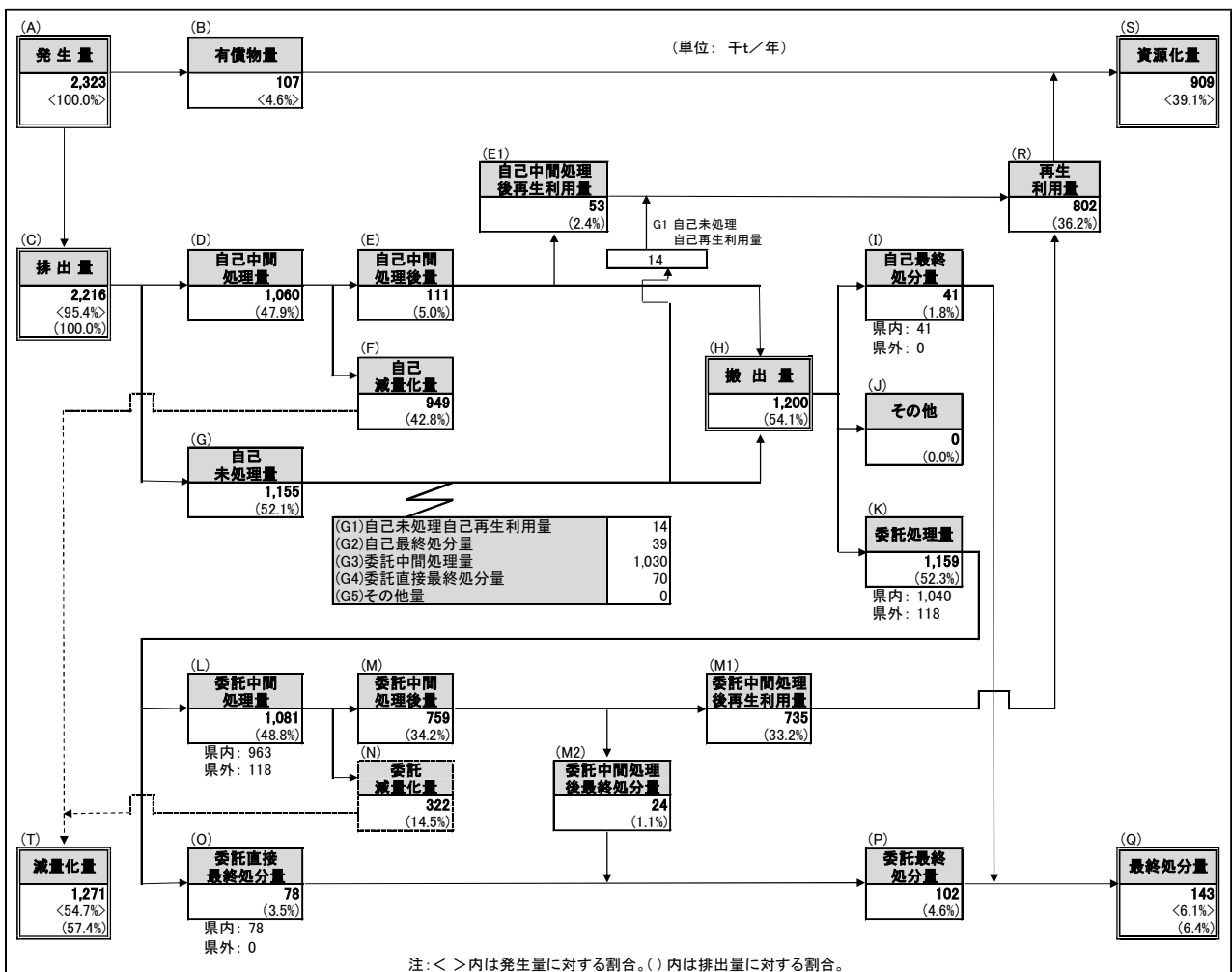
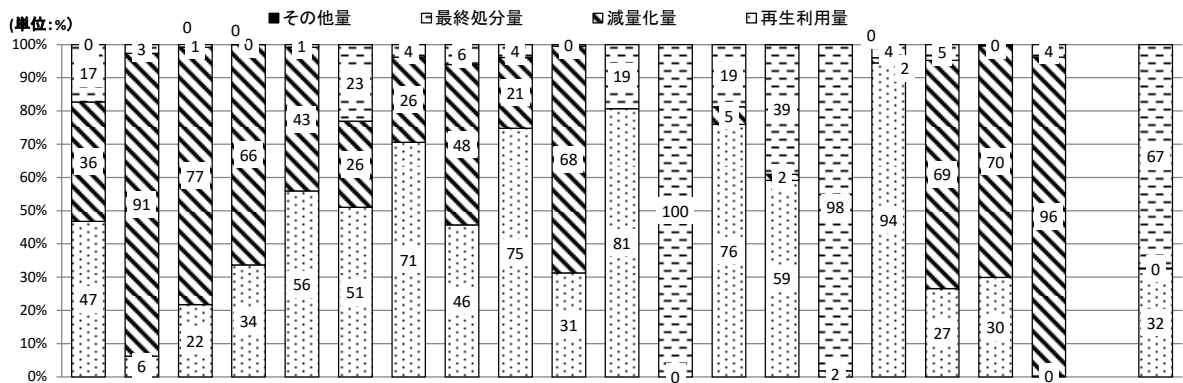


図2-3-1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（家畜ふん尿を除く）

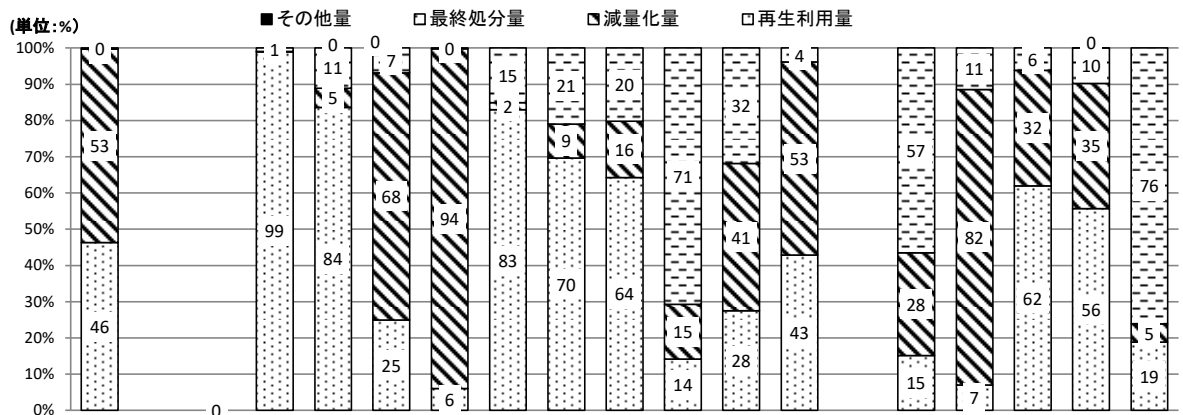


(単位: 千t/年)

項目	合計	紙くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	13号廃棄物	その他産業廃棄物	
排出量	2,216	15	930	47	308	35	53	2	106	2	41	1	0	9	50	36	484	52	13	6		26	
再生利用量	811	7	58	10	104	19	27	1	49	2	13	1		7	29	1	457	14	4	0		8	
減量化量	1,262	6	848	36	204	15	14	0	51	0	28			1	1		7	35	9	5		0	
最終処分量	143	3	24	0	0	0	12	0	6	0	0	0	0	2	19	35	20	2	0	0		17	
その他量	0															0							

注1) 図表中の廃棄物の種類は、排出量に対する処理の割合を示すために、中間処理により種類が変わった場合であっても、発生時の種類で捉えている。【種類別: 無変換】

図 2 - 3 - 2 種類別の排出量に対する処理・処分量の割合（家畜ふん尿を除く）



(単位: 千t/年)

項目	合計	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸・小売業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	飲食・宿泊	生活関連・娯楽	教育・学習支援	医療、福祉	複合サービス事業	サービス	公務
排出量	2,216	17			1	580	988	578	0	3	28	1	0	1		0	8	0	8	1
再生利用量	802	8			1	486	246	35	0	2	18	0	0	1		0	1	0	4	0
減量化量	1,271	9			0	31	674	542	0	0	4	0	0	1		0	7	0	3	0
最終処分量	143	0			0	64	67	1	0	1	6	1	0	0		0	1	0	1	1
その他量	0																			0

図 2 - 3 - 3 業種別の排出量に対する処理・処分量の割合（家畜ふん尿を除く）

2. 自己中間処理状況

排出事業者自らが中間処理を行った自己中間処理量は、1,060千トンであり、排出量の47.9%を占めている。

自己中間処理量を種類別にみると、図2-3-4に示すとおり、汚泥が716千トン(67.6%)で最も多く、次いで、廃酸が231千トン(21.8%)、木くずが41千トン(3.8%)、がれき類が33千トン(3.1%)等となっている。

また、排出量に対する自己中間処理量の割合(自己中間処理率)及び自己中間処理量に対する自己減量化量の割合(自己減量化率)についてみると、図2-3-5に示すとおりである。

自己中間処理率が高い種類は、汚泥(77.0%)、廃酸(74.8%)、廃油(66.9%)等となっており、自己減量化率が高い種類では、廃油(98.1%)、汚泥(92.5%)、廃酸(88.5%)等となっている。

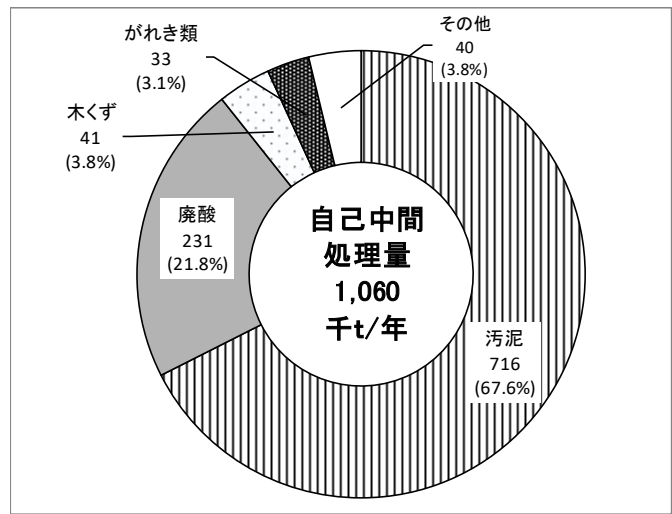


図2-3-4 自己中間処理量 (家畜ふん尿を除く)

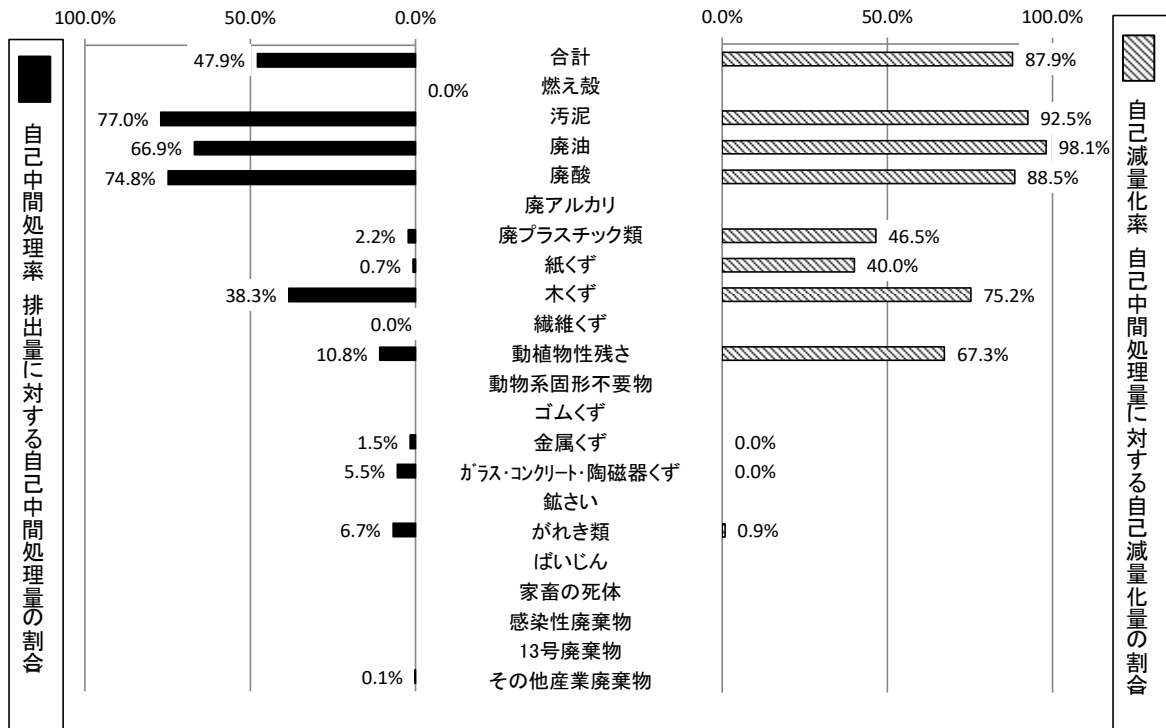


図2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己減量化量の割合 (家畜ふん尿を除く)

3. 委託処理状況

処理業者等によって処理(中間処理、最終処分を含む)された委託処理量は、1,159千トンであり、排出量の52.3%を占めている。

委託処理量を種類別にみると、図2-3-6、7に示すとおり、がれき類が453千トン(39.1%)で最も多く、次いで汚泥が242千トン(20.9%)、廃酸が78千トン(6.7%)、木くずが66千トン(5.7%)、ばいじんが53千トン(4.6%)、廃プラスチック類が52千トン(4.5%)等となっている。

また、委託処理量を処理方法別にみると、中間処理量は1,081千トン(93.3%)、直接最終処分量は78千トン(6.7%)となっている。

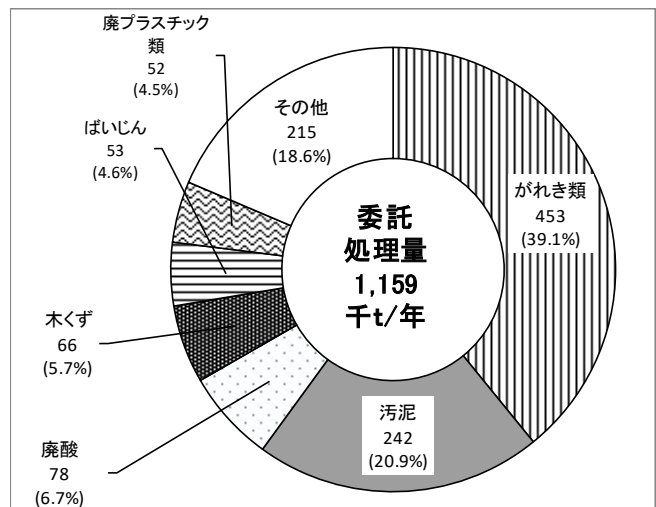
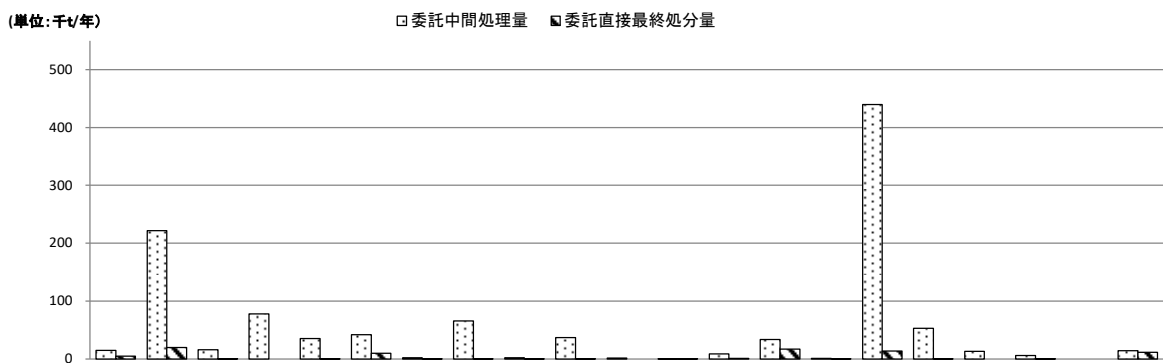


図2-3-6 委託処理量 (家畜ふん尿を除く)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	陶磁器・ガラス・プラスチック類	金属くず	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉄くず	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	18号廃棄物	その他産業廃棄物
委託処理量	1,159	19	242	16	78	35	52	2	66	2	37	1	0	9	50	1	453	53	13	6		25
委託中間処理量	1,081	15	222	16	78	35	42	2	65	2	37	1	0	8	33	1	440	53	13	6		14
委託直接最終処分量	78	5	20	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	1	17	0	14	0	0	0		11

図2-3-7 種類別委託処理量の内訳 (家畜ふん尿を除く)

4. 資源化、再生利用状況

(1) 資源化状況

資源化量は、909 千トンであり、発生量の 39.1%を占めている。

資源化量を種類別にみると、図 2-3-8、9 に示すとおり、がれき類が 457 千トン(50.2%)で最も多く、次いで、木くずが 98 千トン(10.8%)、廃酸が 92 千トン(10.1%)、汚泥が 59 千トン(6.5%)、金属くずが 38 千トン(4.2%)、燃え殻が 35 千トン(3.8%) 等となっている。

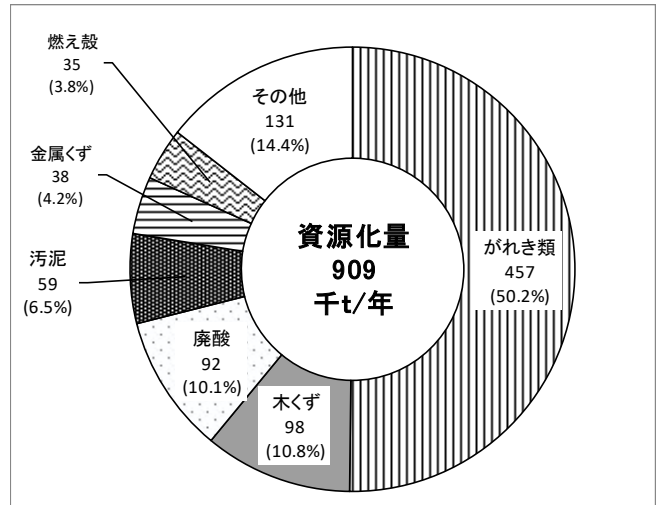


図 2-3-8 資源化量
(家畜ふん尿を除く)

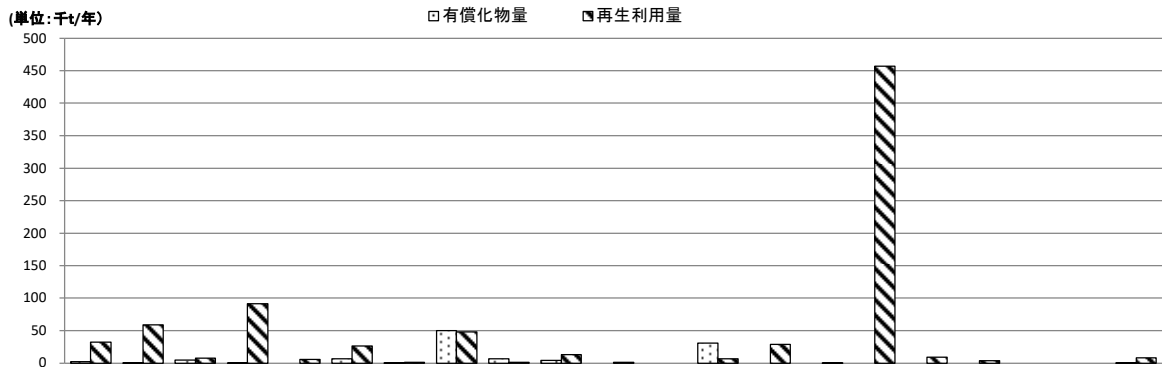
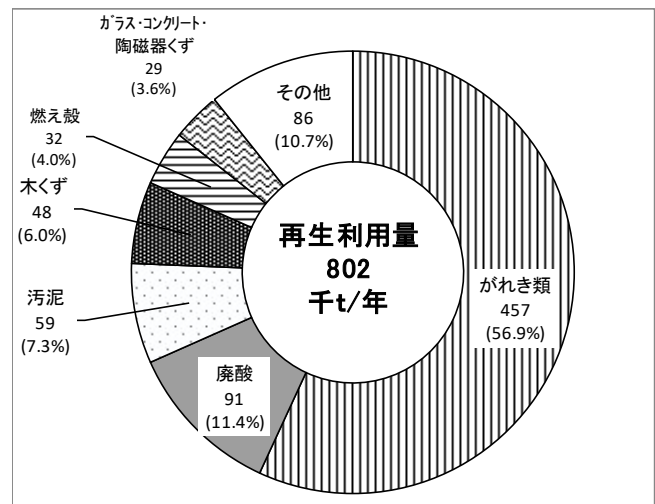


図 2-3-9 種類別資源化量の内訳 (家畜ふん尿を除く)

(2) 再生利用状況

資源化量のうち有償物量を除く再生利用量は 802 千トンであり、排出量の 36.2%を占めている。

再生利用量を種類別にみると、図 2-3-10 に示すとおり、がれき類が 457 千トン(56.9%) で最も多く、次いで、廃酸が 91 千トン(11.4%)、汚泥が 59 千トン(7.3%)、木くずが 48 千トン(6.0%)、燃え殻が 32 千トン(4.0%)、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが 29 千トン(3.6%) 等となっている。



(家畜ふん尿を除く)

なお、用途別にみた再生利用状況は、表 2-3-1 に示すとおりであり、再生骨材・再生路盤材が 462 千トン(57.6%) で最も多く、次いで、肥料又はその原(材)料が 92 千トン(11.5%)、飼料又はその原(材)料が 82 千トン(10.3%) 等となっている。

表 2-3-1 用途別にみた再生利用状況

(単位: 千t/年)

種類 \ 用途	合計	再生骨材・再生路盤材	肥料又はその原(材)料	セメント原材料	飼料又はその原(材)料	土木・建設資材	燃料又はその原(材)料	鉄鋼原(材)料	そのほかの原(材)料	そのほかの原(材)料	プラスチック原料	その他
合計	802 (100.0%)	462 (57.6%)	92 (11.5%)	38 (4.7%)	82 (10.3%)	31 (3.9%)	50 (6.3%)	6 (0.7%)	7 (0.9%)	8 (1.0%)	7 (0.9%)	18 (2.2%)
燃え殻	32	0	9	23	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	59	0	41	6	0	2	2	0	7	0	0	0
廃油	8	0	0	3	0	0	5	0	0	0	0	0
廃酸	91	0	12	0	79	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	6	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	26	1	0	1	0	0	16	1	0	7	1	0
紙くず	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
木くず	48	1	18	0	0	1	20	0	4	1	0	3
繊維くず	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
動植物性残さ	13	0	10	0	3	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	7	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	29	23	0	1	0	4	0	0	0	0	0	1
鉱さい	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
がれき類	457	437	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0
ばいじん	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
家畜の死体	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他産業廃棄物	8	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0

5. 最終処分状況

最終処分量は、143千トンであり、排出量の6.4%を占めている。

最終処分量を種類別にみると、図2-3-11、12に示すとおり、鉱さいが35千トン(24.4%)で最も多く、次いで、汚泥が22千トン(15.6%)、がれき類が20千トン(13.7%)、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが19千トン(13.6%)、その他産業廃棄物が17千トン(12.0%)、廃プラスチック類が12千トン(8.3%)、燃え殻が9千トン(6.5%)等となっている。

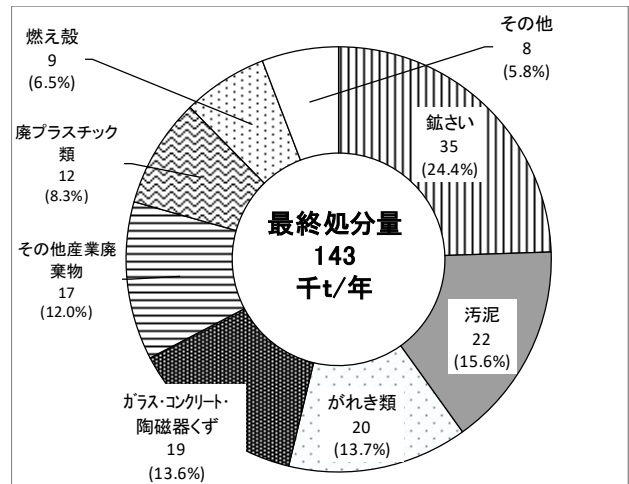
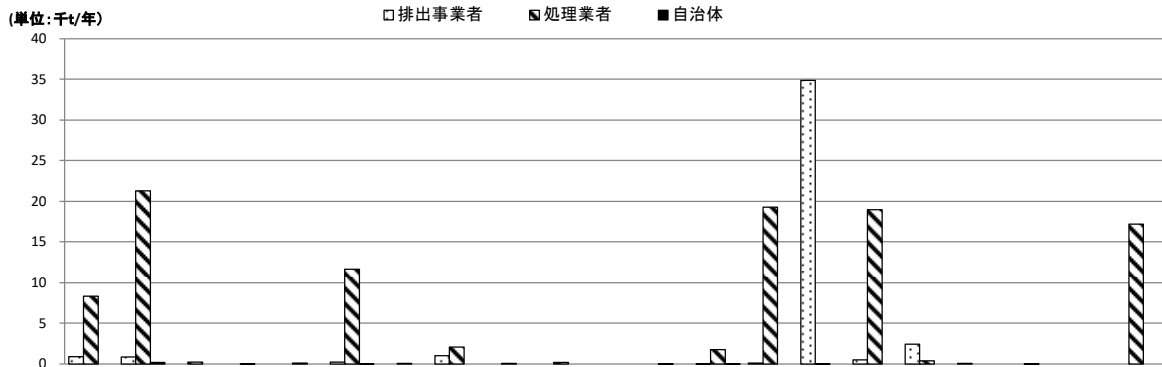


図2-3-11 最終処分量 (家畜ふん尿を除く)

また、処分主体別にみると、排出事業者による自己最終処分量が41千トン(28.7%)、処理業者による最終処分量101千トン(71.2%)となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭酸アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性油脂	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	19号廃棄物	その他産業廃棄物	
最終処分量	143	9	22	0	0	0	12	0	3	0	0	0	0	2	19	35	20	3	0	0		17	
排出事業者	41	1	1				0		1					0	0	35	1	2	0				
処理業者	101	8	21	0	0	0	12	0	2	0	0		0	2	19	0	19	0		0		17	
自治体	0		0				0							0									

図2-3-12 処分主体別の最終処分量 (家畜ふん尿を除く)

第4節 家畜ふん尿を含む調査結果（農業を含む）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図2-4-1～3に示すとおりである。

発生量(6,424千トン)を種類別にみると、家畜ふん尿が4,101千トン(63.8%)で最も多く、次いで汚泥が931千トン(14.5%)、がれき類が484千トン(7.5%)、廃酸が309千トン(4.8%)、木くずが156千トン(2.4%)となっており、これら5種類で発生量の93.1%を占めている。

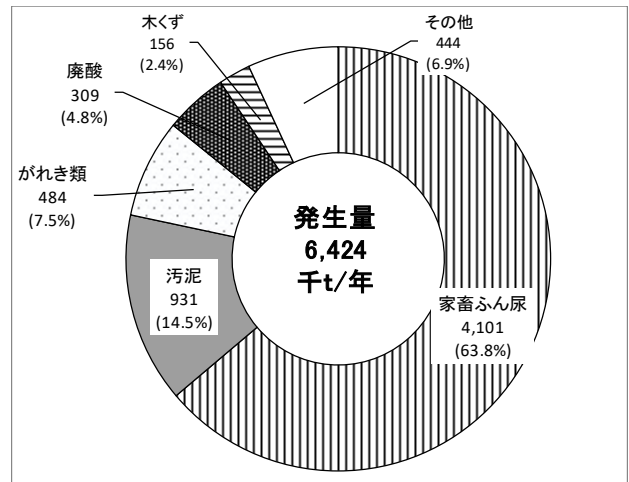


図2-4-1 種類別の発生量

排出量(6,001千トン)を種類別にみると、家畜ふん尿が3,786千トン(63.1%)で最も多く、次いで汚泥が930千トン(15.5%)、がれき類が484千トン(8.1%)、廃酸が308千トン(5.1%)、木くずが106千トン(1.8%)となっており、これら5種類で排出量の93.5%を占めている。

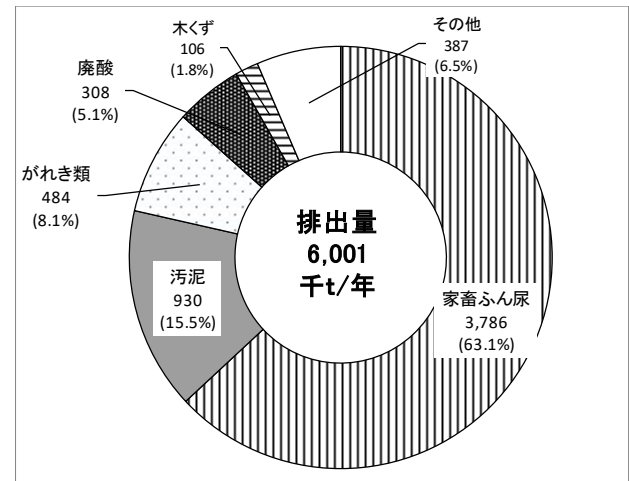


図2-4-2 種類別の排出量
(農業を含む)

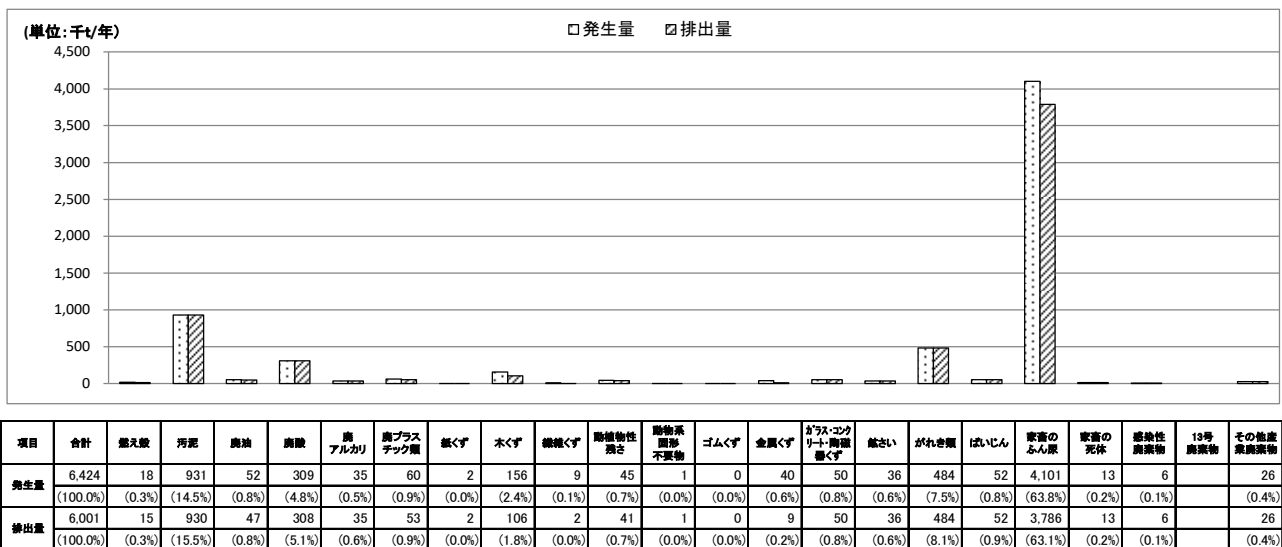


図2-4-3 種類別の発生量、排出量（農業を含む）

第2章 産業廃棄物の現状

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図2-4-4～6に示すとおりである。

発生量(6,424千トン)を業種別にみると、農業が4,065千トン(63.3%)で最も多く、次いで、製造業が1,088千トン(16.9%)、建設業が583千トン(9.1%)、電気・水道業が581千トン(9.0%)となっており、これら4業種で発生量の98.3%を占めている。

排出量(6,001千トン)を業種別にみると、農業が3,749千トン(62.5%)で最も多く、次いで、製造業が988千トン(16.5%)、建設業が580千トン(9.7%)、電気・水道業が578千トン(9.6%)となっており、これら4業種で排出量の98.2%を占めている。

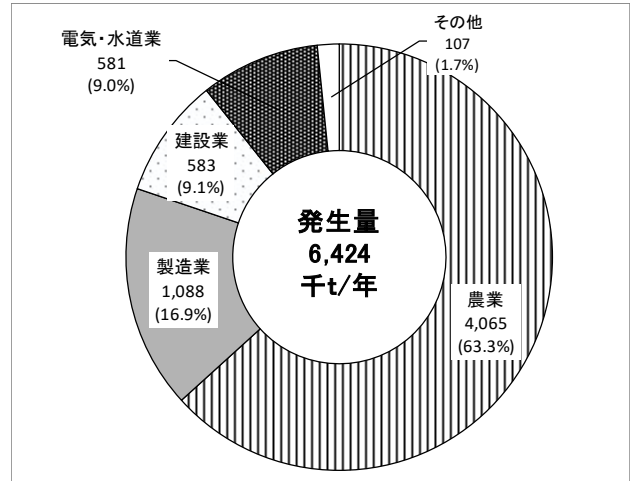


図2-4-4 業種別の発生量

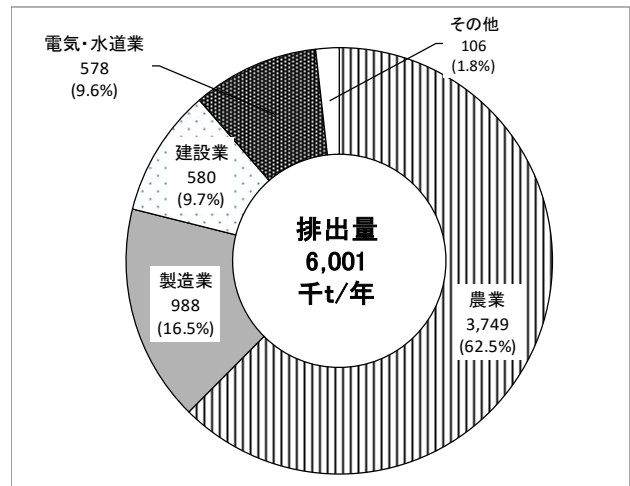


図2-4-5 業種別の排出量

(農業を含む)

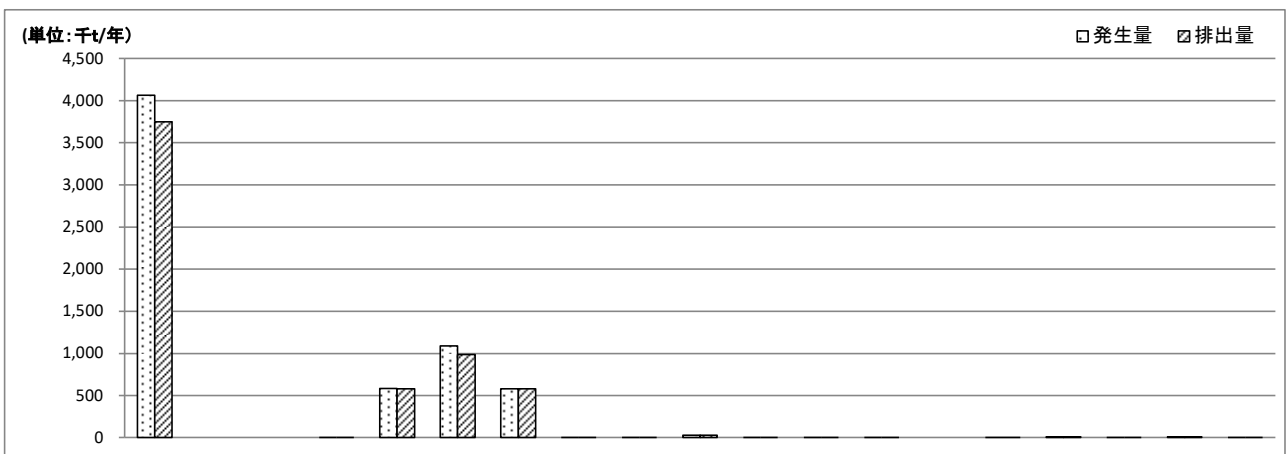


図2-4-6 業種別の発生量、排出量 (農業を含む)

第5節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況（排出量が1万トン以上の業種）

排出量1万トン以上の業種大分類に関する処理・処分状況は、以下のとおりである。

1. 農業（家畜ふん尿を除く）

農業からの排出量は、17千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-1に示すように家畜の死体が13千トン(76.8%)、廃プラスチック類が4千トン(23.4%)となっている。農業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-2に示すとおりである。

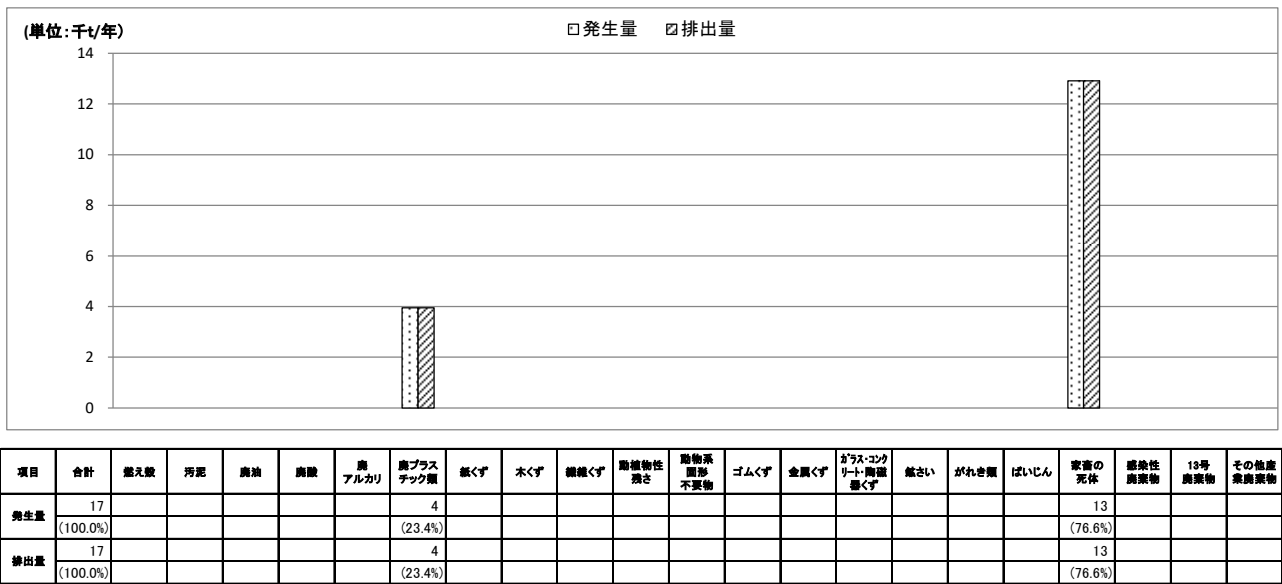


図2-5-1 種類別の発生量、排出量＜農業：家畜ふん尿を除く＞

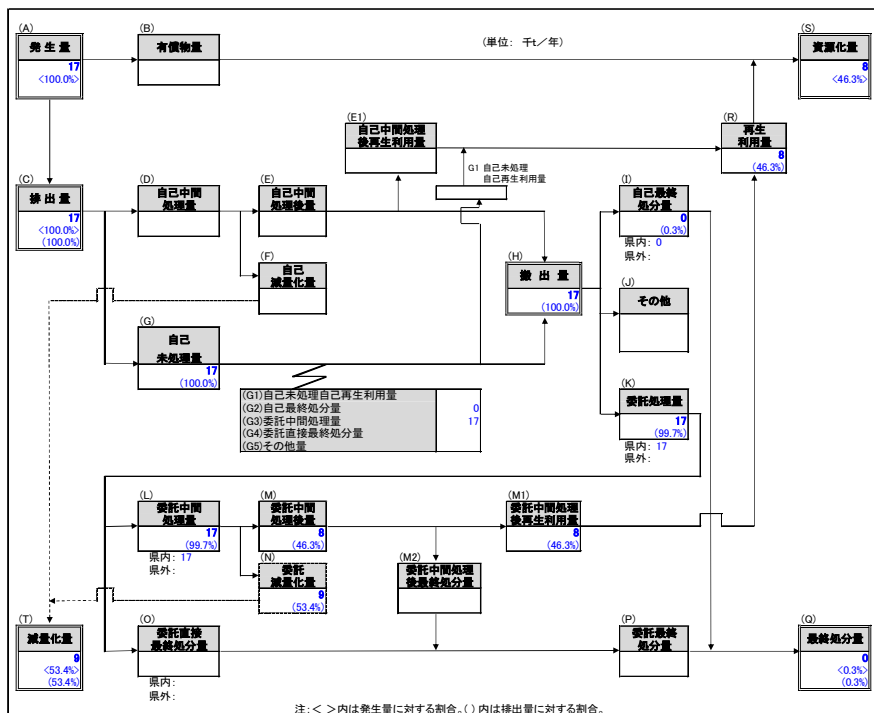


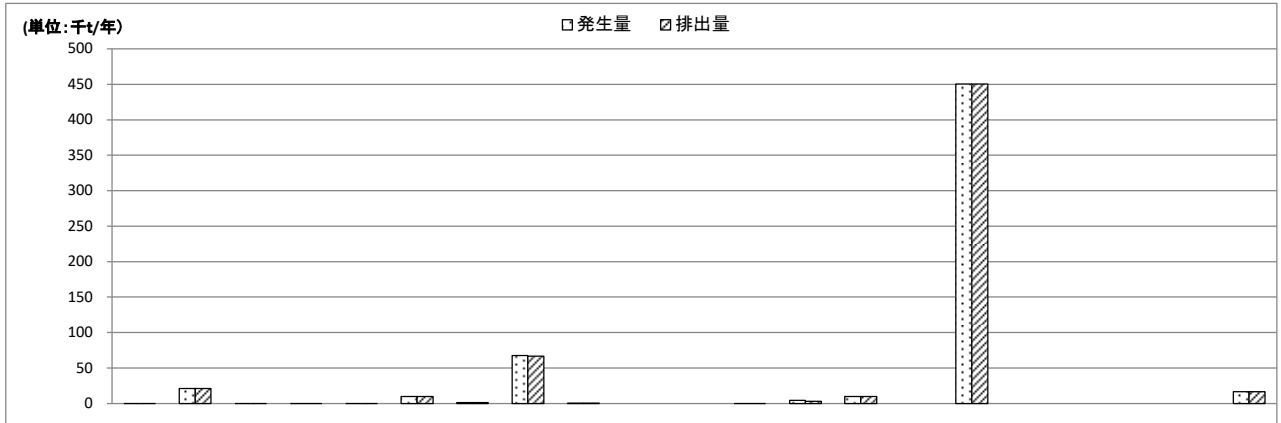
図2-5-2 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図＜農業：家畜ふん尿を除く＞

2. 建設業

建設業からの排出量は、580千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-3に示すように、がれき類が451千トン(77.6%)で最も多く、次いで、木くずが67千トン(11.5%)、汚泥が21千トン(3.7%)、廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが10千トン(1.7%)等となっている。

建設業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-4に示すとおりである。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	13号廃棄物	その他産業廃棄物
発生量	583	0	21	0	0	0	10	1	68	0			0	5	10		451					17
	(100.0%)	(0.0%)	(3.7%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.7%)	(0.2%)	(11.6%)	(0.1%)			(0.0%)	(0.8%)	(1.7%)		(77.6%)					(2.9%)
排出量	580	0	21	0	0	0	10	1	67	0			0	3	10		451					17
	(100.0%)	(0.0%)	(3.7%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.7%)	(0.2%)	(11.5%)	(0.1%)			(0.0%)	(0.5%)	(1.7%)		(77.6%)					(2.9%)

図2-5-3 種類別の発生量、排出量<建設業>

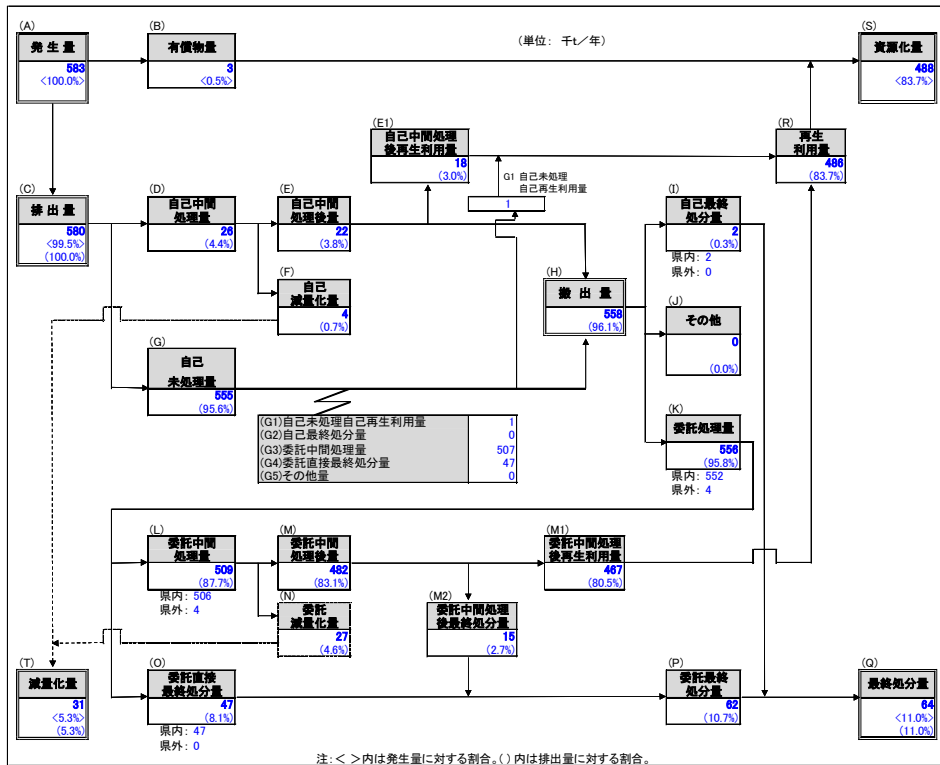


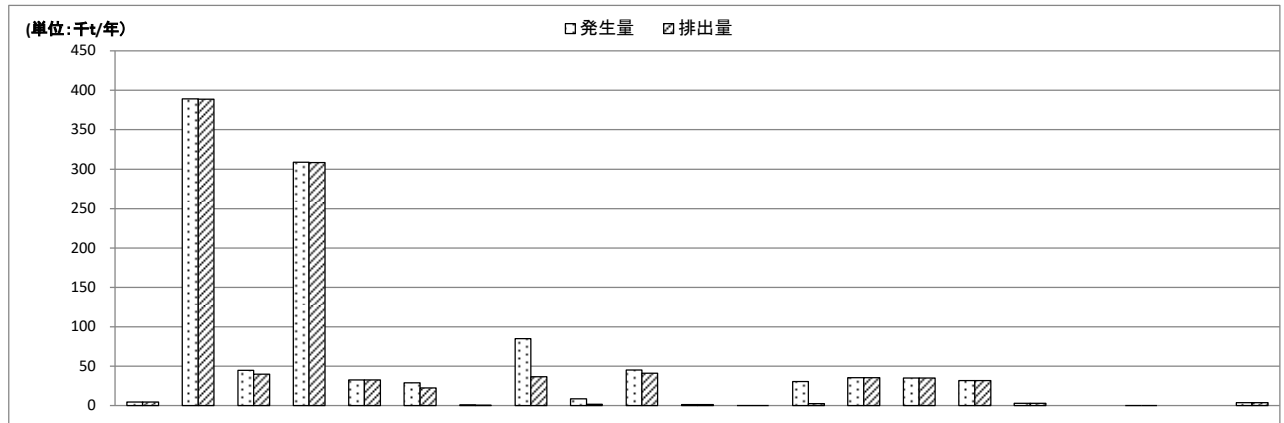
図2-5-4 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<建設業>

3. 製造業

製造業からの排出量は、988千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-5に示すように汚泥が388千トン(39.3%)で最も多く、次いで、廃酸が308千トン(31.2%)、動植物性残さが41千トン(4.2%)、廃油が40千トン(4.0%)、木くずが36千トン(3.7%)等となっている。

製造業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-6に示すとおりである。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	13号廃棄物	その他産業廃棄物
発生量	1,088	4	389	45	309	33	29	1	85	9	45	1	0	31	35	35	32	3	0	0	0	4
	(100.0%)	(0.4%)	(35.7%)	(4.1%)	(28.4%)	(3.0%)	(2.6%)	(0.1%)	(7.8%)	(0.8%)	(4.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(2.8%)	(3.2%)	(3.2%)	(2.9%)	(0.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.4%)
排出量	988	4	388	40	308	33	22	0	36	2	41	1	0	2	35	35	32	3	0	0	0	4
	(100.0%)	(0.4%)	(39.3%)	(4.0%)	(31.2%)	(3.3%)	(2.2%)	(0.0%)	(3.7%)	(0.2%)	(4.2%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.2%)	(3.6%)	(3.5%)	(3.2%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.4%)

図2-5-5 種類別の発生量、排出量<製造業>

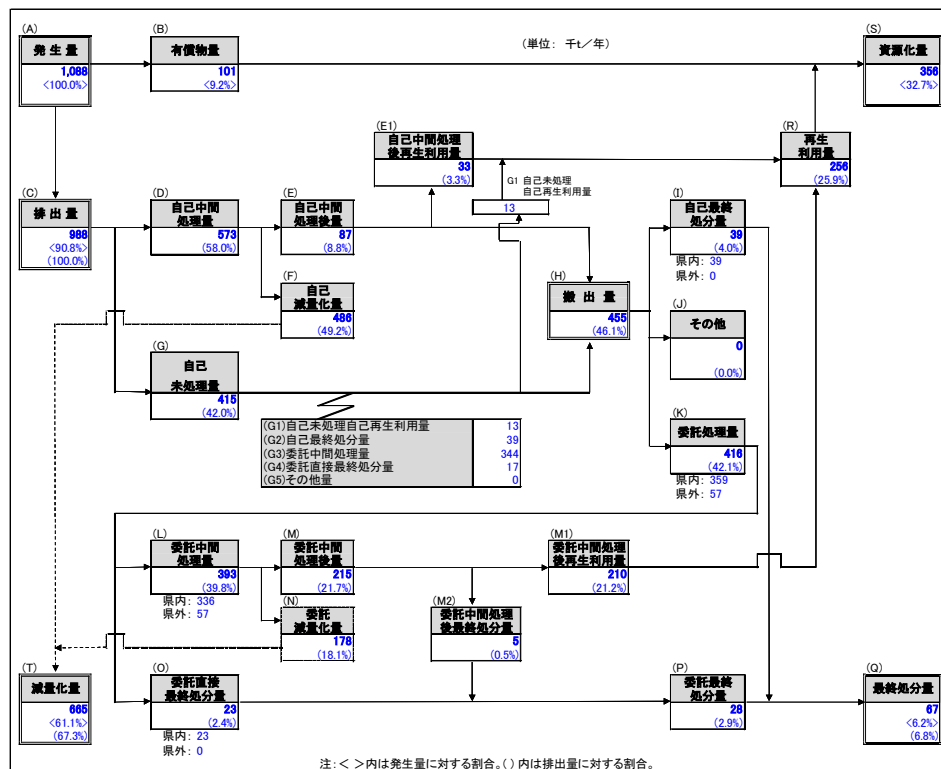


図2-5-6 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<製造業>

第2章 産業廃棄物の現状

4. 電気・水道業

電気・水道業からの排出量は、578千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-7に示すように汚泥が517千トン(89.4%)で最も多く、次いで、ばいじんが49千トン(8.5%)、燃え殻が10千トン(1.8%)等となっている。

電気・水道業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-8に示すとおりである。

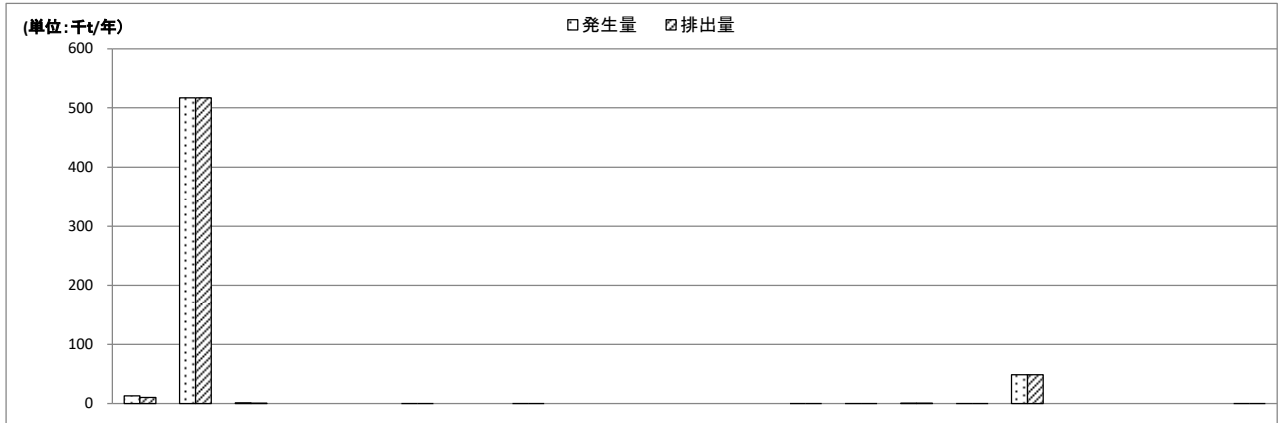


図2-5-7 種類別の発生量、排出量<電気・水道業>

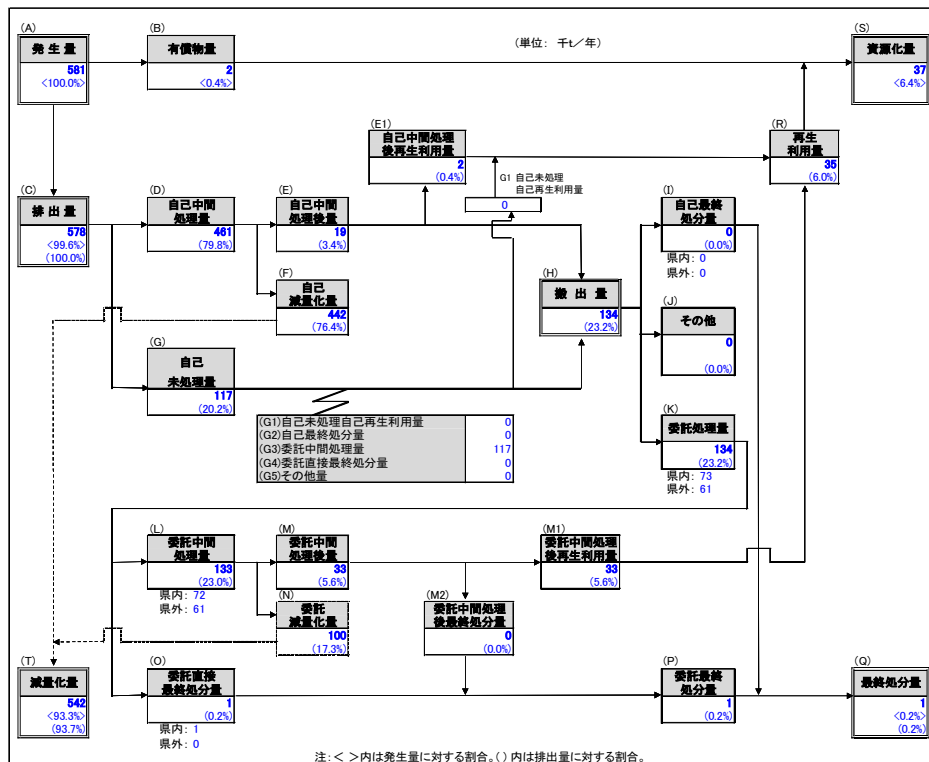


図2-5-8 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<電気・水道業>

5. 卸・小売業

卸・小売業からの排出量は、28千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-9に示すように廃プラスチックが11千トン(40.6%)で最も多く、次いで、廃油が4千トン(15.7%)、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが3千トン(10.0%)等となっている。

卸・小売業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-10に示すとおりである。

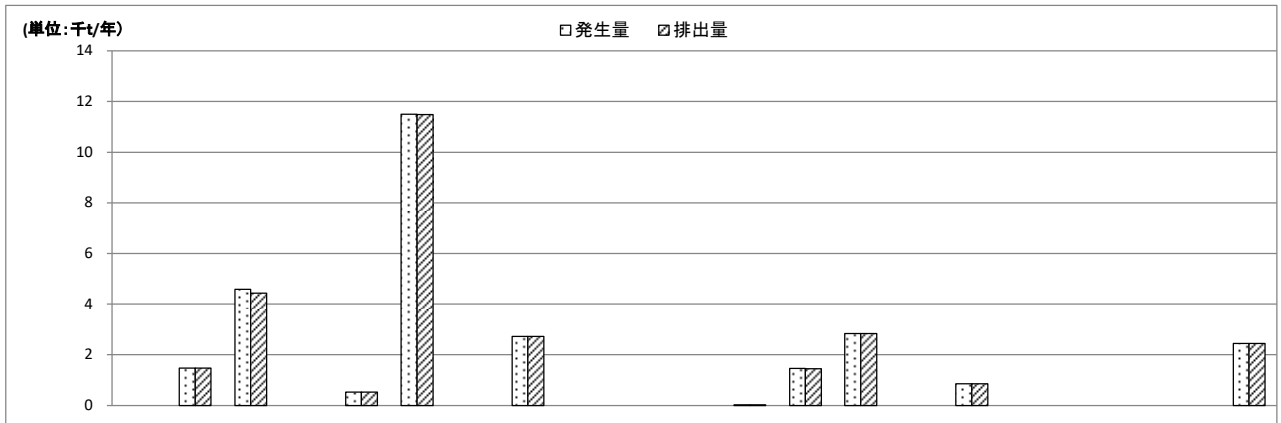


図2-5-9 種類別の発生量、排出量<卸・小売業>

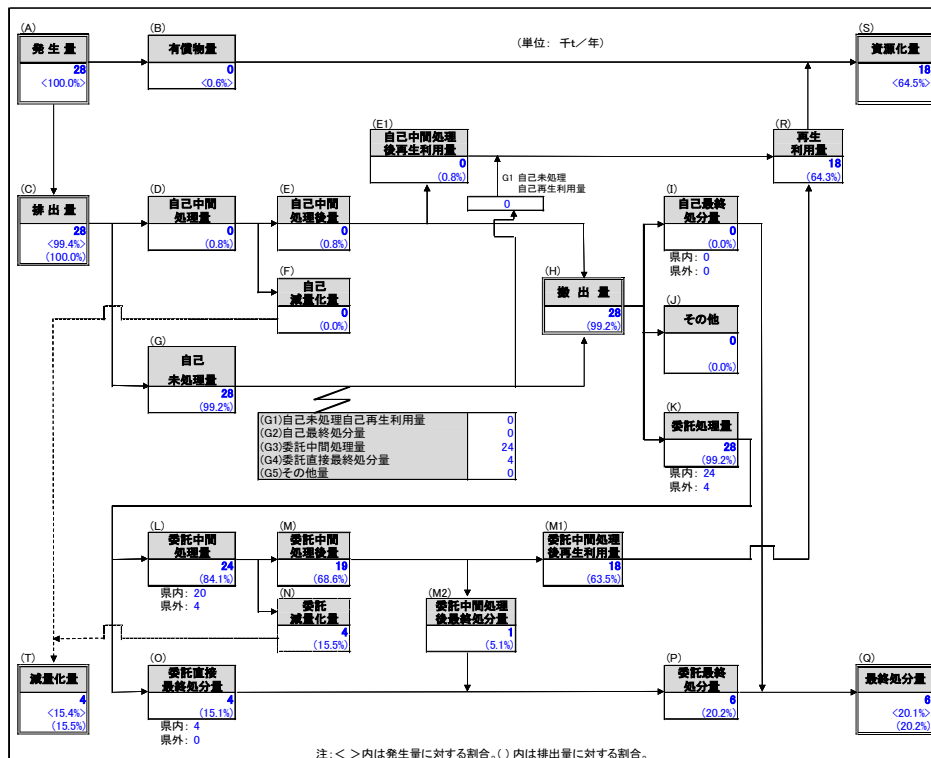


図2-5-10 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<卸・小売業>

第6節 特別管理産業廃棄物

前節までは、特別管理産業廃棄物を含む産業廃棄物全体の状況をみてきたが、ここでは、特別管理産業廃棄物(単位：t/年)について、その発生及び処理・処分状況をまとめる。

1. 発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の発生・排出状況は、図2-6-1～4に示すとおりである。

発生量(18,330トン)を種類別にみると、廃石綿等を除く特定有害廃棄物が6,289トン(34.3%)で最も多く、次いで、感染性廃棄物が5,549トン(30.3%)、廃酸が2,531トン(13.8%)、廃アルカリが2,260トン(12.3%)、廃油が1,684トン(9.2%)、廃石綿等が17トン(0.1%)となっている。

また、業種別にみると、製造業が12,582トン(68.6%)で最も多く、次いで、医療、福祉が5,404トン(29.5%)等となっている。

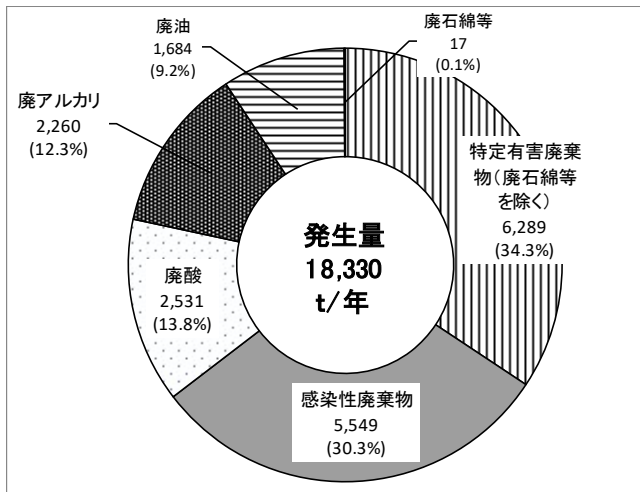


図2-6-1 種類別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞

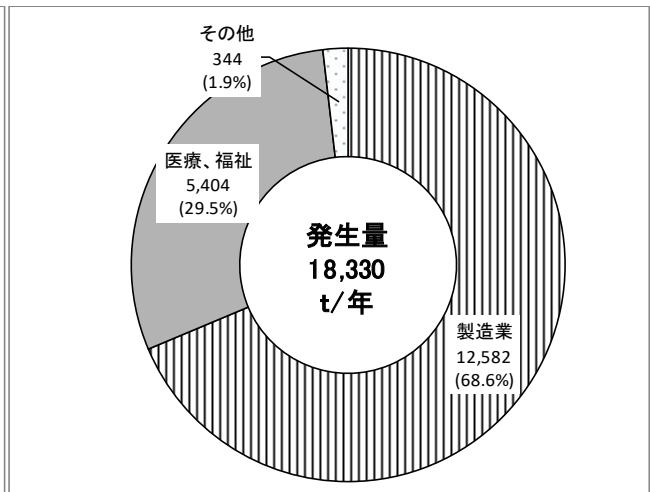
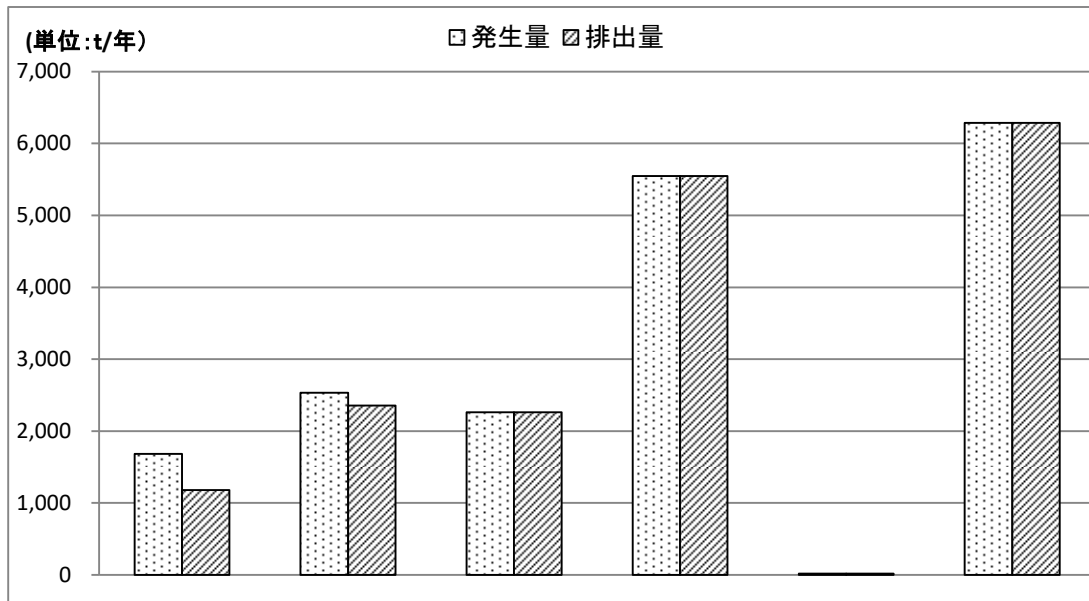
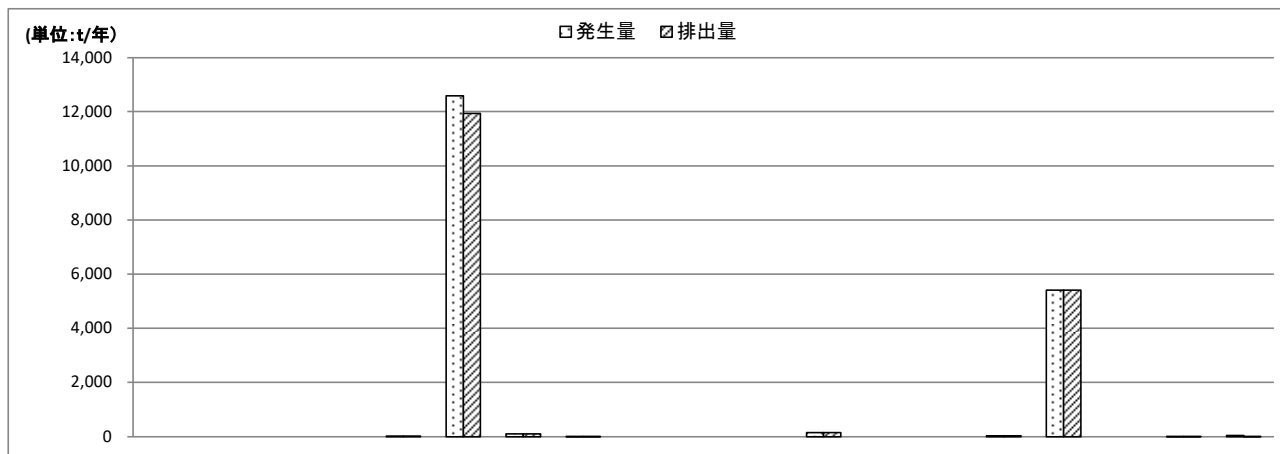


図2-6-2 業種別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞



項目	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿等	特定有害廃棄物 (廃石綿等を除く)
発生量	18,330	1,684	2,531	2,260	5,549	17	6,289
	(100.0%)	(9.2%)	(13.8%)	(12.3%)	(30.3%)	(0.1%)	(34.3%)
排出量	17,648	1,180	2,354	2,260	5,549	17	6,289
	(100.0%)	(6.7%)	(13.3%)	(12.8%)	(31.4%)	(0.1%)	(35.6%)

図2-6-3 種類別の特別管理産業廃棄物の発生量、排出量



項目	合計	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸・小売業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	飲食・宿泊	生活関連・娯楽	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス業	サービス	公務
発生量	18,330					19	12,582	96	1				147			27	5,404		7	47
	(100.0%)					(0.1%)	(68.6%)	(0.5%)	(0.0%)				(0.8%)			(0.1%)	(29.5%)		(0.0%)	(0.3%)
排出量	17,648					19	11,938	96	1				147			27	5,404		7	10
	(100.0%)					(0.1%)	(67.6%)	(0.5%)	(0.0%)				(0.8%)			(0.2%)	(30.6%)		(0.0%)	(0.1%)

図2-6-4 業種別の特別管理産業廃棄物の発生量、排出量

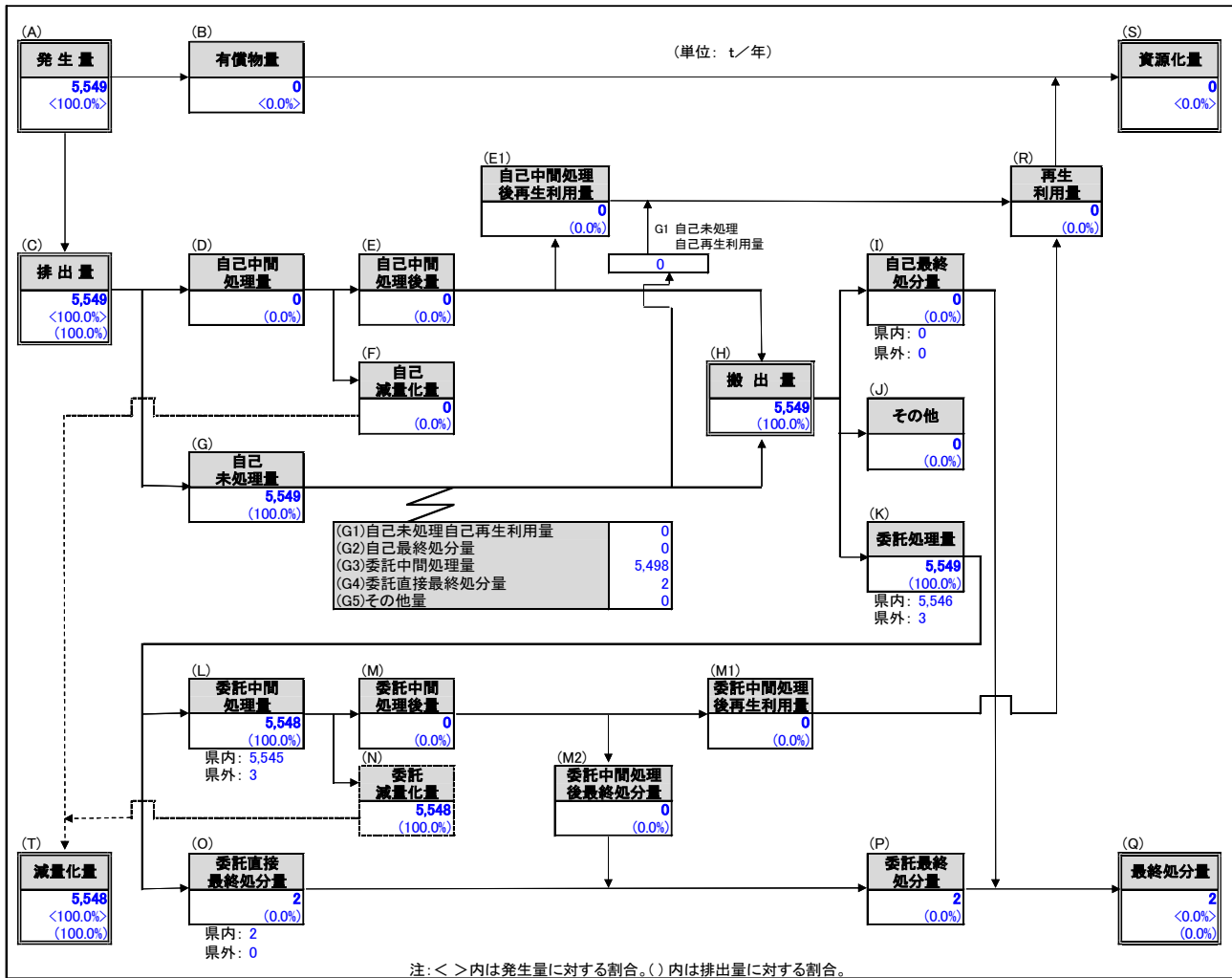


図 2 - 6 - 6 感染性廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

第7節 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）

1. 搬出量の移動状況

産業廃棄物の発生量 2,323 千トン（第1次産業を除く）のうち、処理・処分を目的として事業場から搬出された産業廃棄物量(以下、搬出量という)は、1,183 千トンとなっている。この搬出量の移動状況については、表2-7-1、図2-7-1に示すとおりである。

搬出量 1,183 千トンのうち、県内で処理・処分された量は 1,065 千トン(90.0%)、県外で処理・処分された量は 118 千トン(10.0%)となっており、搬出量の約9割が県内で処理・処分されている。なお、海洋投入処分は行なわれていない。

県内地域間の移動状況をみると、県内自地域内で処理・処分された量は 823 千トン(搬出量の 69.6%)、県内他地域で処理・処分された量は 242 千トン(20.4%)となっている。

表2-7-1 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）

(単位:千t/年)

処分		発生	合計	宮崎県北部	西都・児湯	宮崎・東諸県	日南・串間	都城・北諸県	西諸県
合計	搬出量		1,183 (100.0%)	346 (100.0%)	111 (100.0%)	289 (100.0%)	73 (100.0%)	253 (100.0%)	111 (100.0%)
	自己最終処分量		41	35		2	4	0	
	委託中間処理量		1,064	285	108	258	61	245	108
	委託直接最終処分量		78	26	3	29	8	8	3
	その他量		0	0					
県内自地域	搬出量		823 (69.6%)	206 (59.6%)	71 (63.9%)	206 (71.4%)	43 (58.1%)	207 (82.0%)	89 (80.8%)
	自己最終処分量		41	35		2	4	0	
	委託中間処理量		742	153	70	197	31	203	87
	委託直接最終処分量		40	18	1	7	8	4	2
	その他量		0	0					
県内他地域	搬出量		242 (20.4%)	64 (18.4%)	39 (34.9%)	61 (21.0%)	19 (25.6%)	40 (15.7%)	20 (18.3%)
	自己最終処分量								
	委託中間処理量		204	55	36	39	18	36	19
	委託直接最終処分量		38	9	3	22	0	4	1
	その他量								
県外計	搬出量		118 (10.0%)	76 (22.0%)	1 (1.3%)	22 (7.6%)	12 (16.3%)	6 (2.2%)	1 (0.9%)
	自己最終処分量								
	委託中間処理量		118	76	1	22	12	6	1
	委託直接最終処分量		0	0		0		0	0
	その他量								

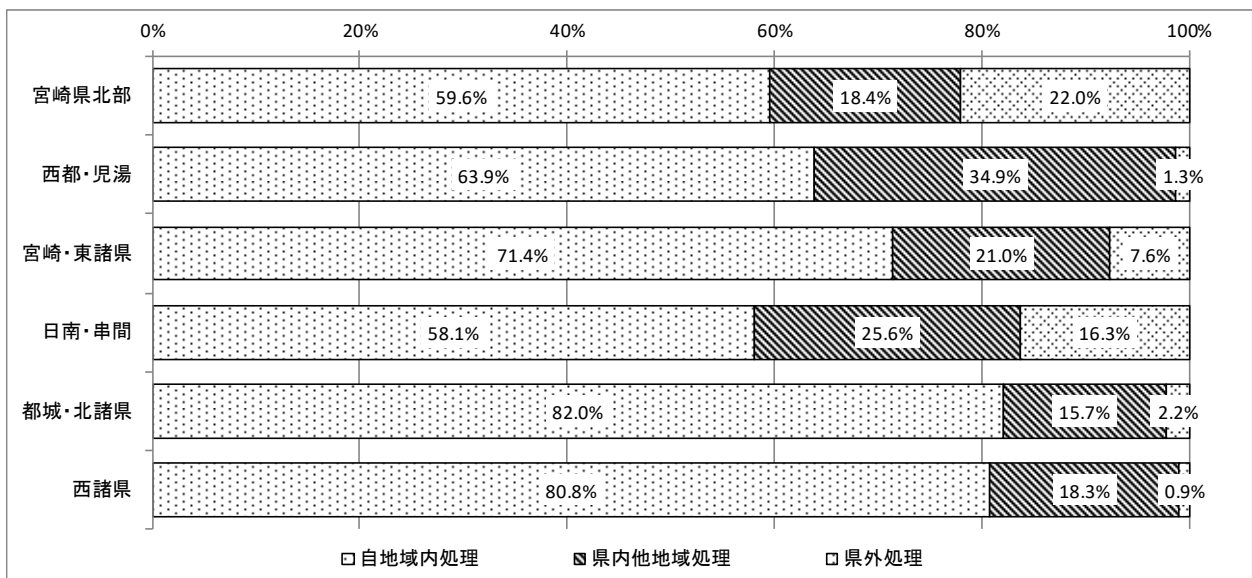


図2-7-1 県内地域間の移動状況（第1次産業を除く）

2. 委託処理量の移動状況

搬出量 1,200 千トン（一次産業を除く）のうち、処理業者等で委託処理された産業廃棄物は、中間処理量（再生利用量含む）が 1064 千トン、直接最終処分量が 78 千トンの計 1,142 千トンとなっている。この移動状況については、表 2-7-2、表 2-7-3 に示すとおりである。

表 2-7-2 産業廃棄物の移動状況（委託中間処理量）

(単位: 千t/年)

処分	発生	合計	宮崎県北部	西都・児湯	宮崎・東諸県	日南・串間	都城・北諸県	西諸県
委託中間処理	合計	1,064	285	108	258	61	245	108
	自治体	0	0		0			0
	処理業者	1,064	285	108	258	61	245	108
	宮崎県北部	166	154	4	7	0	0	1
	自治体	0	0					
	処理業者	166	153	4	7	0	0	1
	西都・児湯	106	26	70	9		0	0
	自治体							
	処理業者	106	26	70	9		0	0
	宮崎・東諸県	282	14	22	197	14	31	4
	自治体	0			0			
	処理業者	282	14	22	197	14	31	4
	日南・串間	32	0	0	0	31	0	0
	自治体							
	処理業者	32	0	0	0	31	0	0
	都城・北諸県	251	12	8	12	2	203	14
	自治体							
	処理業者	251	12	8	12	2	203	14
	西諸県	109	3	2	11	2	4	87
	自治体	0						0
処理業者	109	3	2	11	2	4	87	
県内計	946	209	106	236	49	239	107	
自治体	0	0		0			0	
処理業者	946	208	106	236	49	239	107	
県外計	118	76	1	22	12	6	1	
自治体								
処理業者	118	76	1	22	12	6	1	

表 2-7-3 産業廃棄物の移動状況（委託直接最終処分量）

(単位: 千t/年)

処分	発生	合計	宮崎県北部	西都・児湯	宮崎・東諸県	日南・串間	都城・北諸県	西諸県
委託直接最終処分量	合計	78	27	3	29	8	8	3
	自治体	0	0		0			
	処理業者	78	26	3	29	8	8	3
	宮崎県北部	19	18	1	0			0
	自治体	0	0					
	処理業者	19	18	1	0			0
	西都・児湯	1		1	0	0	1	0
	自治体							
	処理業者	1		1	0	0	1	0
	宮崎・東諸県	11	1	1	7	0	1	0
	自治体	0			0			
	処理業者	11	1	1	7	0	1	0
	日南・串間	8			1	8		
	自治体							
	処理業者	8			1	8		
	都城・北諸県	21	1	0	15	0	4	1
	自治体							
	処理業者	21	1	0	15	0	4	1
	西諸県	17	6	0	6	0	2	2
	自治体							
処理業者	17	6	0	6	0	2	2	
県内計	78	27	3	29	8	8	3	
自治体	0	0		0				
処理業者	78	26	3	29	8	8	3	
県外計	0	0		0		0	0	
自治体								
処理業者	0	0		0		0	0	

第2章 産業廃棄物の現状

県内の委託直接最終処分先地域（処理業者等 78 千トン）をみると、都城・北諸県が 21 千トン（県内委託直接最終処分量の 27.5%）で最も多く、以下、宮崎県北部が 19 千トン（24.5%）、西諸県が 17 千トン（21.6%）、宮崎・東諸県が 11 千トン（13.7%）等となっており、これら 4 地域で全体の 87.4%を占めている。

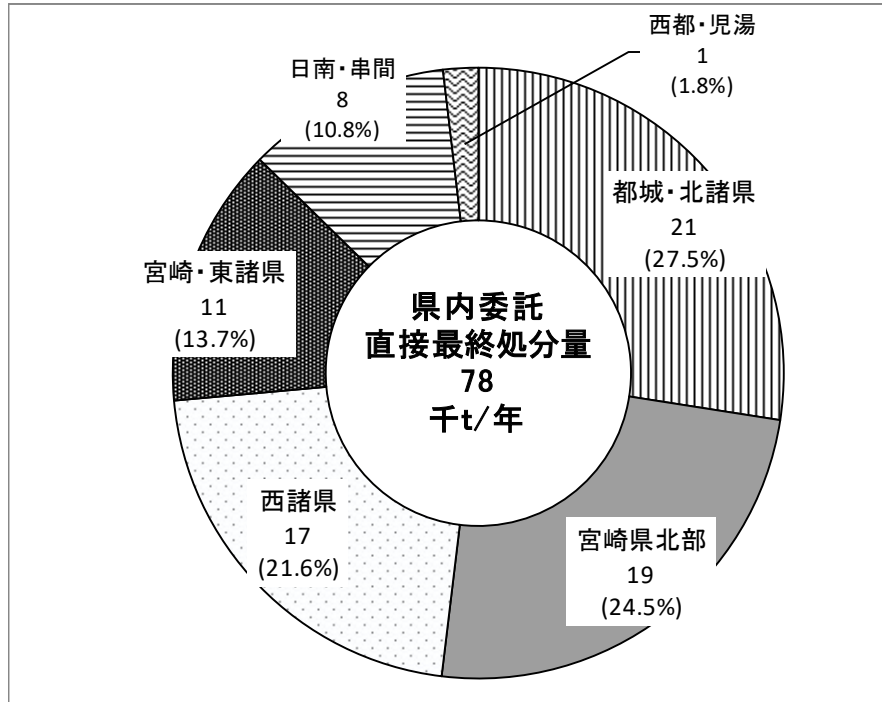


図 2-7-2 委託直接最終処分量の移動状況 [県内地域]
(平成 30 年度)

委託直接最終処分量 78 千トン（自治体含む）のうち、県外に搬出され最終処分された量は約 53 トン（委託直接最終処分量の 0.1%）となっており、搬出先は福岡県、熊本県、鹿児島県、種類では燃え殻、廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、石綿含有廃棄物、混合物等となっている。

表 2-7-4 県外への移動状況（第 1 次産業を除く）

(単位:t/年)

種類	処分先	合計	福岡県	熊本県	鹿児島県
合計		53	49	2	2
	燃え殻	8	8		
	廃プラスチック	2			2
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	41	41		
	石綿含有廃棄物	2		2	
	混合物等	0	0		

3. 広域の移動状況（県外からの搬入）

県外からの産業廃棄物の搬入状況については、表2-7-5、図2-7-3～4に示すように109千トンとなっている。これを県別の搬入元で見ると、福岡県が37千トン（搬入量の33.9%）で最も多く、次いで鹿児島県が28千トン（25.5%）、熊本県が27千トン（24.4%）、沖縄県が8千トン（7.5%）等となっており、この4県で全体の91.3%を占めている。なお、九州外からは3百トン（0.2%）となっている。

種類別では、廃プラスチック類が31千トン（搬入量の28.5%）で最も多く、次いでガラス・コンクリート・陶磁器くずが18千トン（16.5%）、その他産業廃棄物が14千トン（12.6%）、汚泥が12千トン（11.1%）、がれき類が9千トン（8.1%）等となっており、この5種類で全体の76.8%を占めている。

表2-7-5 県外からの搬入状況（中間処理目的+最終処分目的）

(単位:t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	動植物性残さ	陶磁器くず	ガラス・コンクリート	鉱さい	がれき類	家畜の死体	家畜のふん尿	ばいじん	シュレッダーダスト	その他産業廃棄物	
福岡県	36,844	766	1,099			16,487			8	9,248			8,585	73		20	70	487	
佐賀県	3,041		60			1,964			100					917					
長崎県	4,738	2,546	39			209			71	156	96			654		708		258	
熊本県	26,532	663	1,493	14		4,031		414	20	5,699				180			2,032	11,986	
大分県	1,479		109			1,350			2					18					
鹿児島県	27,698	2,741	4,778	387	4,230	6,613	30		301	1,435			218	2,537	3,373		520	532	
沖縄県	8,149	8	4,510			46				1,400			45				29	1,628	483
九州内	108,481	6,725	12,088	401	4,230	30,700	30	414	502	17,938	96	8,849	4,379	3,373	758		4,250	13,747	
九州外	261					261													
合計	108,742	6,725	12,088	401	4,230	30,961	30	414	502	17,938	96	8,849	4,379	3,373	758	4,250	13,747		

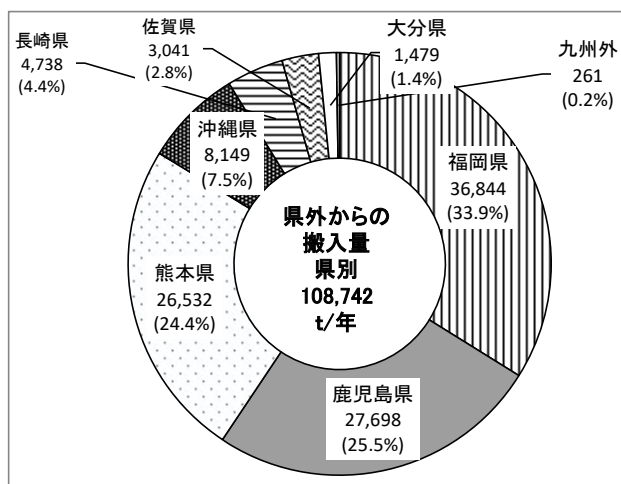


図2-7-3 県外からの県別搬入量 (平成30年度)

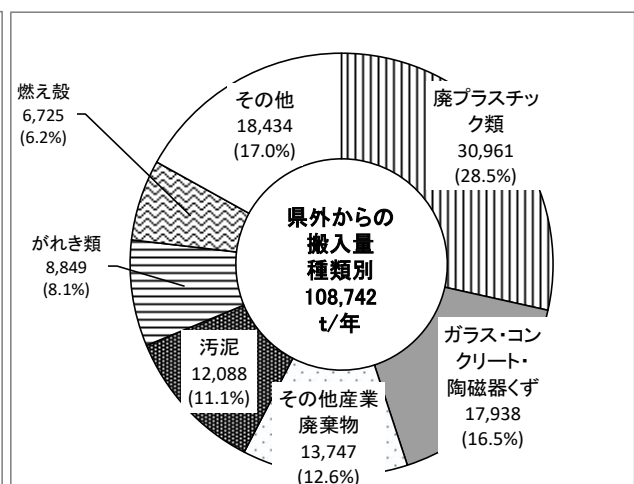


図2-7-4 県外からの種類別搬入量 (平成30年度)

第2章 産業廃棄物の現状

中間処理目的の搬入状況では、表2-7-6、図2-7-5～6に示すように36千トンとなっている。県別の搬入元をみると、鹿児島県が21千トン（搬入量の57.7%）で最も多く、次いで熊本県が6千トン（15.9%）、福岡県が4千トン（10.4%）等となっており、この3県で全体の84.0%を占めている。なお、九州外からは3百トン（0.7%）となっている。

種類別では、廃プラスチック類が18千トン（搬入量の49.1%）で最も多く、次いで汚泥が5千トン（15.1%）、家畜の死体が4千トン（12.2%）等となっており、この3種類で全体の76.4%を占めている。

表2-7-6 県外からの搬入状況（中間処理目的）

(単位:t/年)	合計	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	動植物性残さ	家畜の死体	家畜のふん尿	その他産業廃棄物
福岡県	3,737	128			3,528	8	73		
佐賀県	3,041	60			1,964	100	917		
長崎県	973	39			209	71	654		
熊本県	5,738	1,493	14		4,031	20	180		
大分県	1,479	109			1,350	2	18		
鹿児島県	20,768	3,618	387	4,230	6,310	301	2,537	3,373	11
沖縄県	11	2			9				
九州内	35,747	5,449	401	4,230	17,401	502	4,379	3,373	11
九州外	261				261				
合計	36,008	5,449	401	4,230	17,662	502	4,379	3,373	11

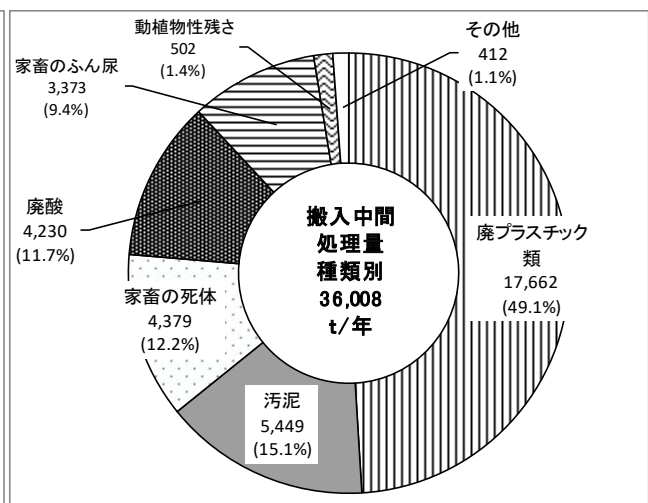
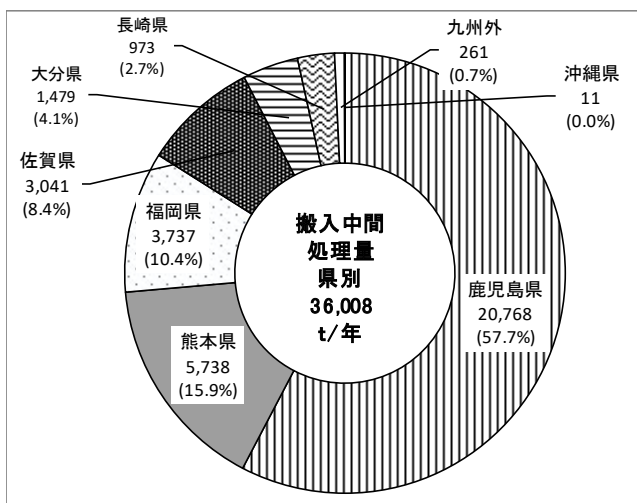


図2-7-5 県外からの県別中間処理搬入量（平成30年度）

図2-7-6 県外からの種類別中間処理搬入量（平成30年度）

また、最終処分目的の搬入状況では、表2-7-7、図2-7-7～8に示すように73千トンとなっている。県別の搬入元でみると、福岡県が33千トン（搬入量の45.5%）で最も多く、次いで熊本県が21千トン（28.6%）、沖縄県が8千トン（11.2%）、鹿児島県が7千トン（9.5%）、長崎県が4千トン（5.2%）となっている。なお、九州外からの搬入はない。

種類別では、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが18千トン（搬入量の24.7%）で最も多く、次いでその他産業廃棄物が14千トン（18.9%）、廃プラスチック類が13千トン（18.3%）、がれき類が9千トン（12.2%）等となっており、この4種類で全体の74.1%を占めている。

表2-7-7 県外からの搬入状況（最終処分目的）

(単位:t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	木くず	繊維くず	陶磁器くず	ガラス・コンクリート・	鉱さい	がれき類	ばいじん	シュレッダーダスト	その他産業廃棄物
福岡県	33,107	766	971	12,959			9,248			8,585	20	70	487
佐賀県													
長崎県	3,765	2,546					156	96			708		258
熊本県	20,794	663				414	5,699					2,032	11,986
大分県													
鹿児島県	6,930	2,741	1,160	303	30		1,435			218		520	521
沖縄県	8,138	8	4,508	37			1,400			45	29	1,628	483
合計	72,734	6,725	6,639	13,299	30	414	17,938	96	8,849	758	4,250	13,736	

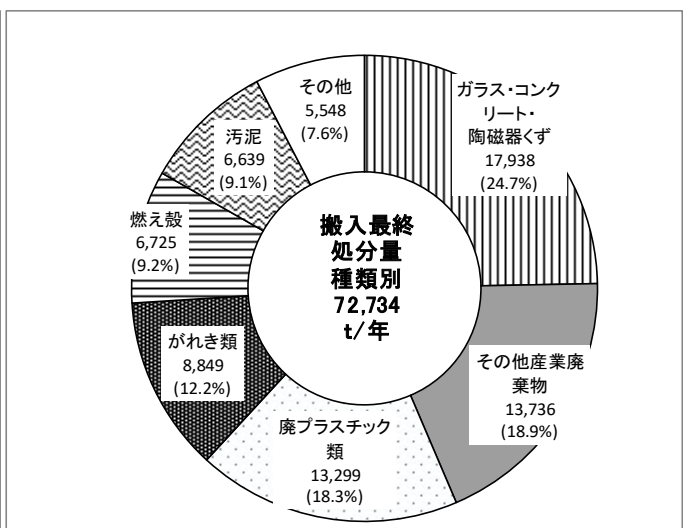
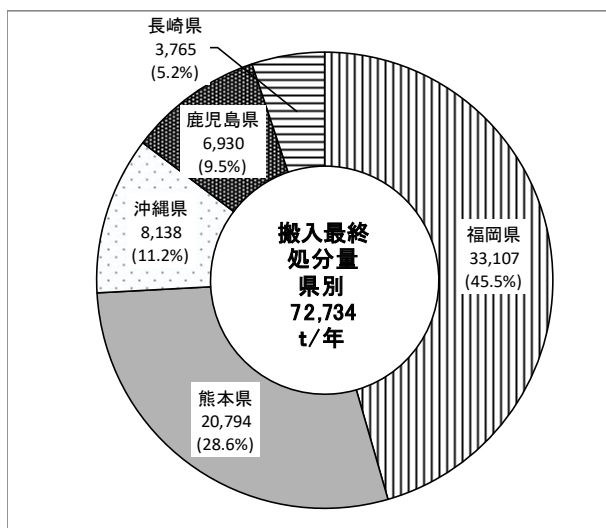


図2-7-7 県外からの県別最終処分搬入量（平成30年度）

図2-7-8 県外からの種類別最終処分搬入量（平成30年度）

第3章 産業廃棄物の推移と目標の達成状況

平成28年3月に改定した「宮崎県循環型社会推進計画」（以下、「計画」という。）の現況値（平成25年度）及び目標値（平成32年度）に対する評価については、以下のとおりである。

第1節 計画の現況値（平成25年度）との比較

1. 排出状況の比較（家畜ふん尿を除く）

平成30年度の排出量を平成25年度と比較すると、図3-1-1～2に示すとおりである。この5年間で、排出量は1.7%増加している。

排出量の増加要因については、業種では製造業、種類では汚泥、木くず等が大きく影響している。

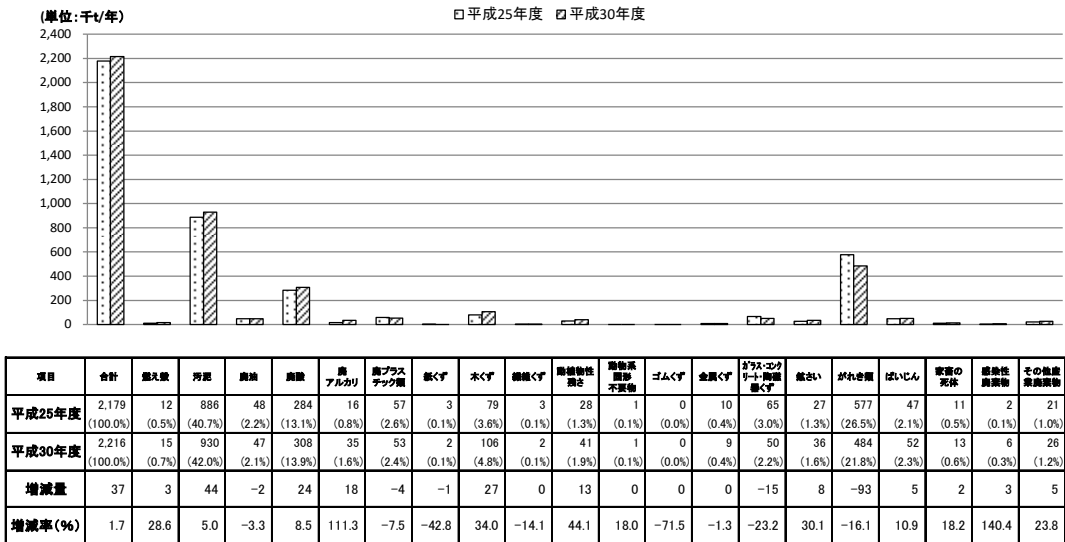


図3-1-1 種類別排出量の比較（家畜ふん尿を除く）

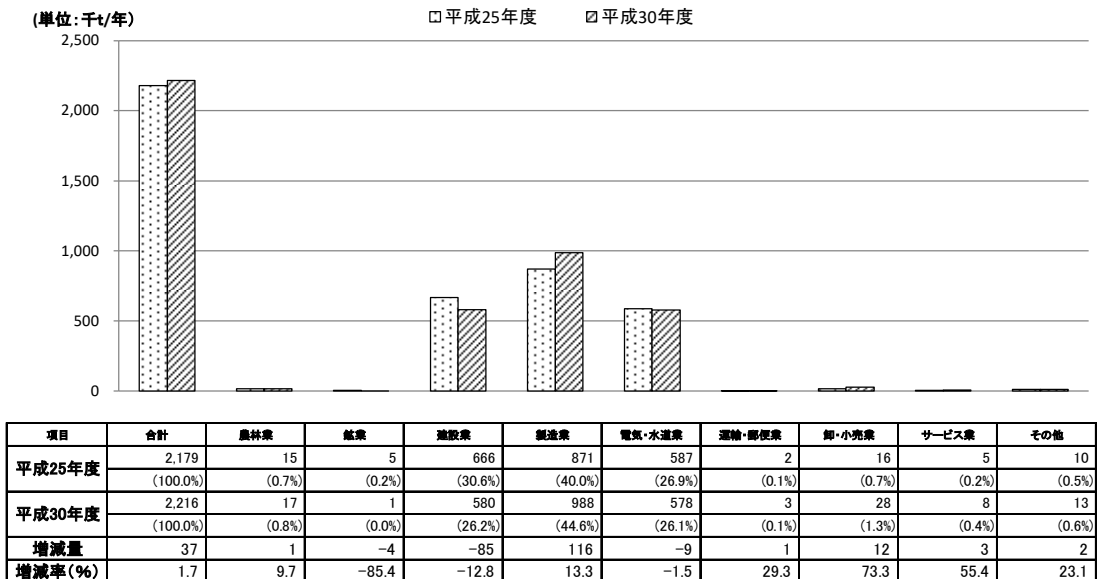


図3-1-2 業種別排出量の比較（家畜ふん尿を除く）

2. 処理・処分状況の比較（家畜ふん尿を除く）

平成30年度の処理・処分状況を平成25年度と比較すると、表3-1-1、図3-1-3に示すとおりである。

排出量が2,179tから2,216tへ増加する中、再生利用量が969t(44.5%)から802t(36.2%)、最終処分量が154t(7.1%)から143t(6.4%)に減少している。

表3-1-1 処理・処分状況の比較（家畜ふん尿を除く）

(単位:千t/年)						
項目	平成25年度		平成30年度		増減量	増減率(%)
排出量	2,179	(100.0%)	2,216	(100.0%)	37	1.7
再生利用量	969	(44.5%)	802	(36.2%)	-167	-17.2
減量化量	1,055	(48.4%)	1,271	(57.4%)	216	20.4
最終処分量	154	(7.1%)	143	(6.4%)	-11	-7.2
その他量	1	(0.0%)	0	(0.0%)	-1	-100.0

(注)千トン未満を四捨五入して表示しているため、合計や増減量、増減率が単純計算と一致しないものがある。

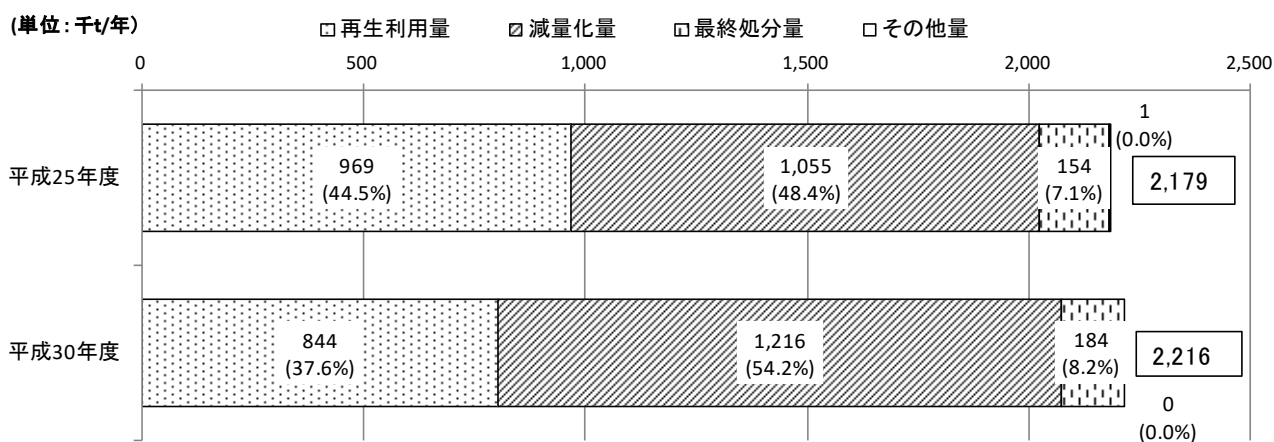


図3-1-3 処理・処分状況の比較（家畜ふん尿を除く）

第2節 目標の達成状況

1. 家畜ふん尿を除く目標値に対する評価

① 排出量

平成30年度の排出量は2,216千トンで、平成32年度目標量2,014千トンに対しては200千トンほど多く目標は達成していない。

② 再生利用量

平成30年度の再生利用量は802千トン（再生利用率：36.2%）で、平成32年度目標量906千トン（再生利用率：45.0%）に対しては、量では104千トン、率では8.8ポイント下回っており、目標は達成していない。

③ 最終処分量

平成30年度最終処分量は143千トン（最終処分率：6.4%）となっている。平成32年度目標量151千トン（最終処分率：7.5%）に対しては、量で8千トン、率で1.1ポイント下回っており、目標は達成している。

表3-2-1 数値目標の達成状況（家畜ふん尿を除く）

項目	実績値	今回調査	循環型社会推進 計画(改定計画) 平成32年度 (目標値)	評価
	平成25年度	平成30年度 (現状値)		
排出量(家畜ふん尿を除く)	2,179 (100.0%)	2,216 (100.0%)	2,014 (100.0%)	目標を達成していない。
再生利用量(家畜ふん尿を除く)	969 (44.5%)	802 (36.2%)	906 (45.0%)	目標を達成していない。
減量化量(家畜ふん尿を除く)	1,055 (48.4%)	1,271 (57.4%)	-	-
最終処分量(家畜ふん尿を除く)	154 (7.1%)	143 (6.4%)	151 (7.5%)	目標を達成している。

※()内は排出量に対する割合。
 ※その他量(保管等)を記載していないので、排出量と個々の合計値が一致しない。

注) 中間処理による減量化量は、排出量から再生利用量、最終処分量、その他量を差し引いた計算上の値のため、評価の対象外とする。

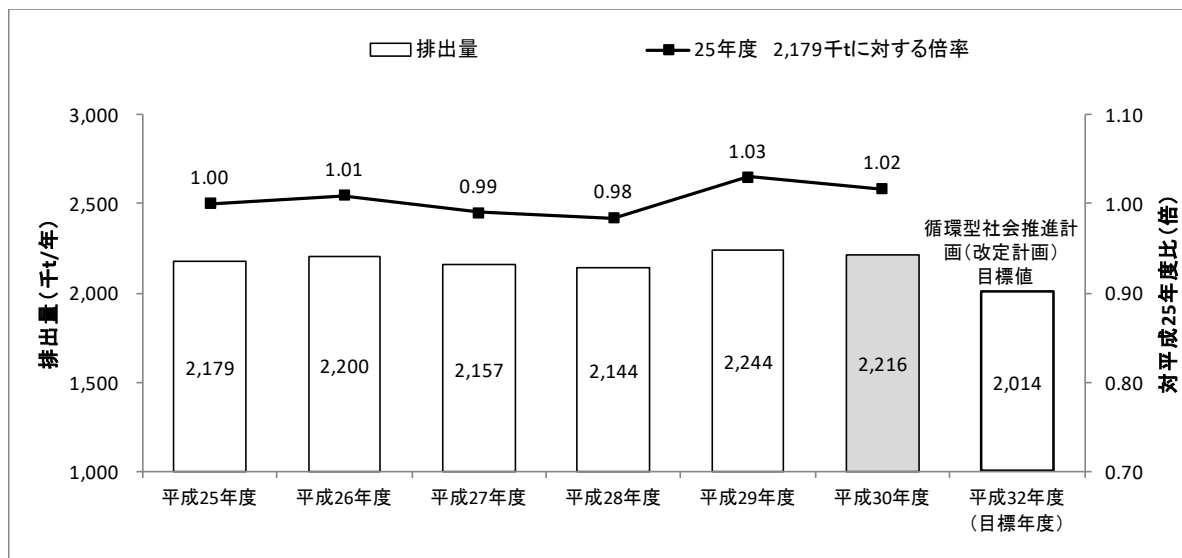


図3-2-1 数値目標の達成状況（排出量・家畜ふん尿を除く）

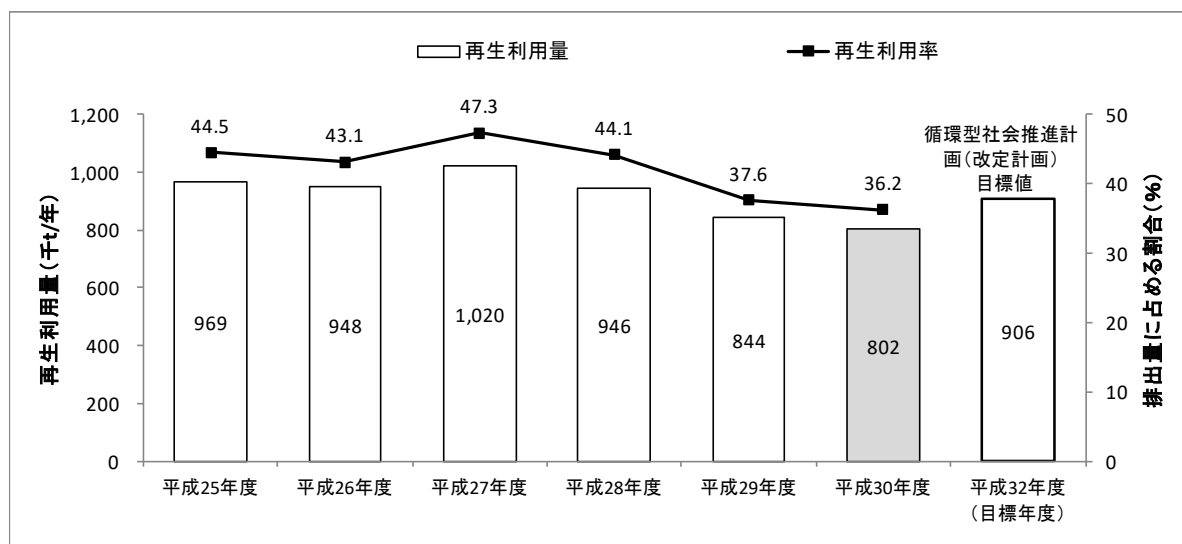


図3-2-2 数値目標の達成状況（再生利用量・家畜ふん尿を除く）

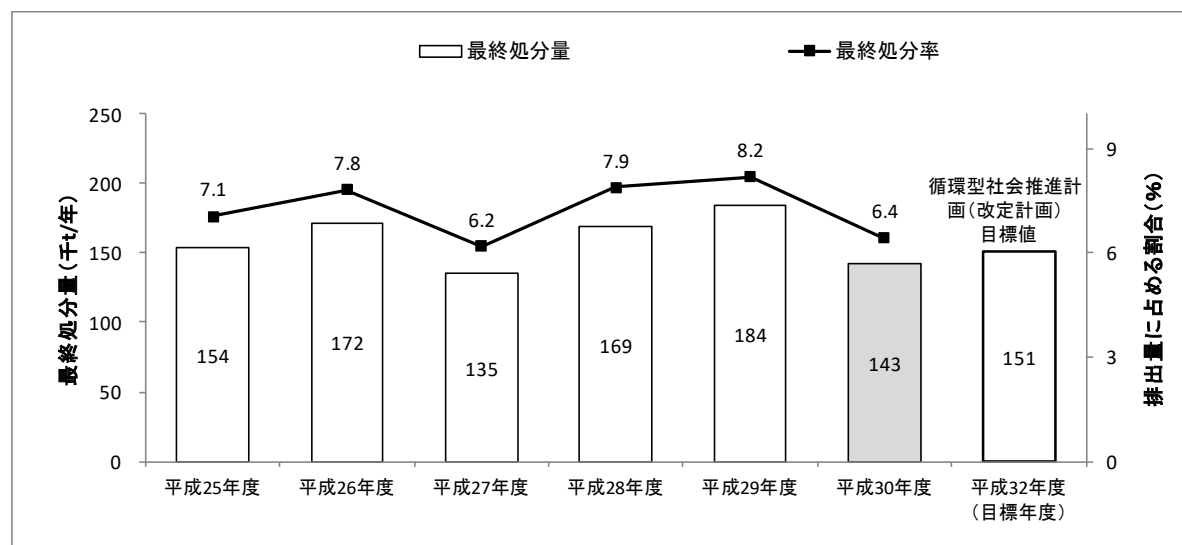


図3-2-3 数値目標の達成状況（最終処分量・家畜ふん尿を除く）

2. 家畜ふん尿を含む目標値に対する評価

① 排出量

平成30年度の排出量は6,001千トンで、平成32年度目標量5,977千トンに対して24千トンほど多く目標は達成していない。

② 再生利用量

平成30年度の再生利用量は3,828千トン（再生利用率：63.8%）で、平成32年度目標量4,005千トン（再生利用率：67.0%）に対しては、量では177千トン、率では3.2ポイント下回っており、目標は達成していない。

③ 最終処分量

平成30年度の最終処分量は143千トン（最終処分率：2.4%）となっている。平成32年度目標量151千トン（最終処分率：2.2%）に対しては、量で8千トン、率で0.2ポイント上回っており、目標は達成している。

表3-2-2 数値目標の達成状況（家畜ふん尿を含む）

項目	実績値		今回調査		評価
	平成25年度	平成30年度 (現状値)	平成30年度 (現状値)	平成32年度 (目標値)	
排出量(家畜ふん尿を含む)	6,096 (100.0%)	6,001 (100.0%)	6,001 (100.0%)	5,977 (100.0%)	目標を達成していない。
再生利用量(家畜ふん尿を含む)	4,032 (66.1%)	3,828 (63.8%)	3,828 (63.8%)	4,005 (67.0%)	目標を達成していない。
減量化量(家畜ふん尿を含む)	1,911 (31.3%)	2,031 (33.8%)	2,031 (33.8%)	1,821 (30.5%)	-
最終処分量(家畜ふん尿を含む)	154 (2.5%)	143 (2.4%)	143 (2.4%)	151 (2.2%)	目標を達成している。

※()内は排出量に対する割合。
※その他量(保管等)を記載していないので、排出量と個々の合計値が一致しない。

(単位:千t/年)
循環型社会推進計画(改定計画)
注)中間処理による減量化量は、排出量から再生利用量、最終処分量、その他量を差し引いた計算上の値のため、評価の対象外とする。

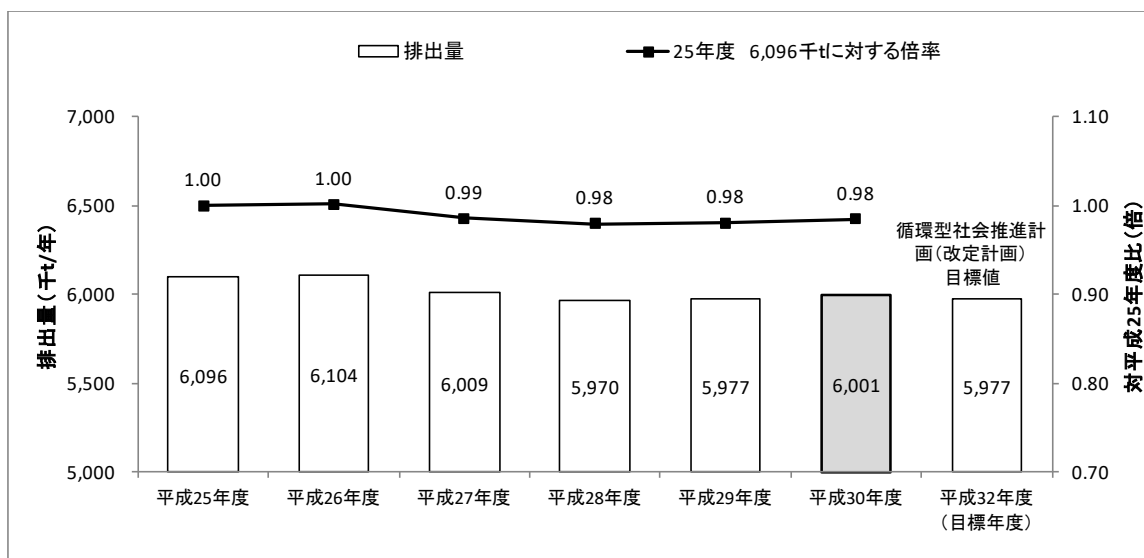


図3-2-4 数値目標の達成状況（排出量・家畜ふん尿を含む）

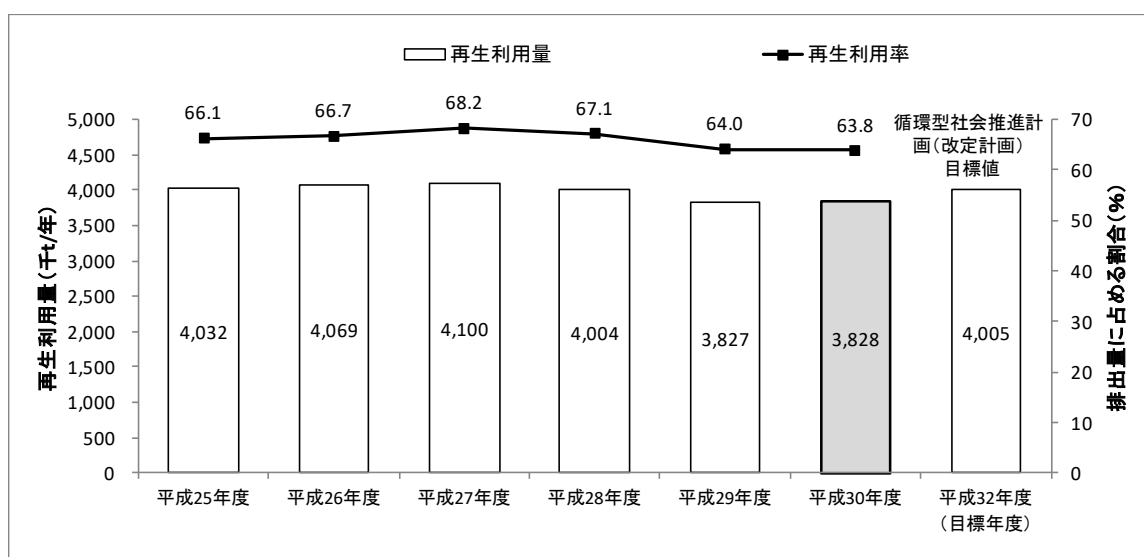


図3-2-5 数値目標の達成状況（再生利用量・家畜ふん尿を含む）

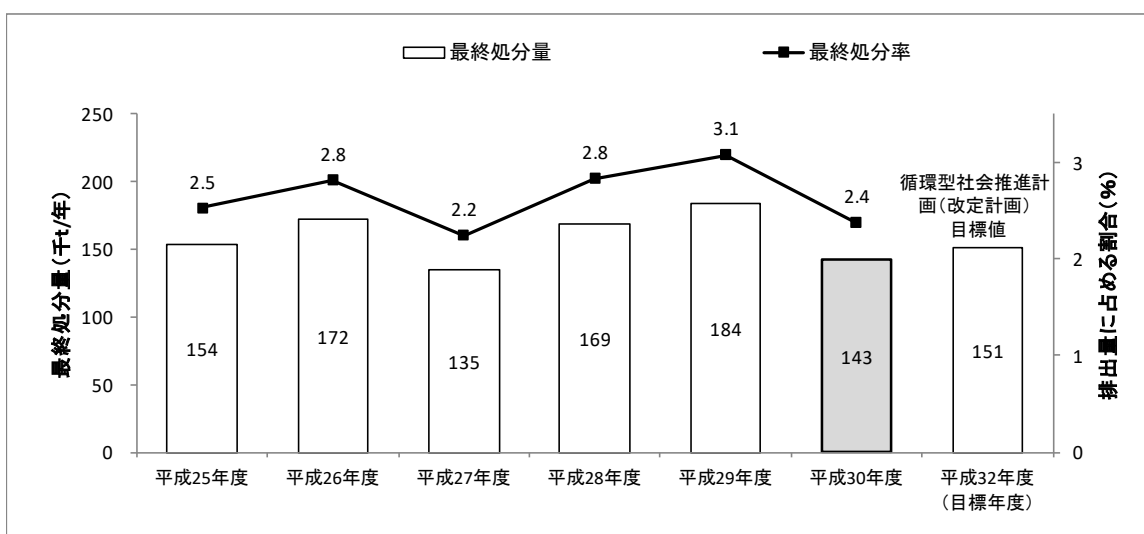


図3-2-6 数値目標の達成状況（最終処分量・家畜ふん尿を含む）

3. 目標達成率と評価及び今後の対応

平成32年度の計画目標に対する現状（平成30年度）の達成状況、評価・今後の対応等をまとめると表3-2-3に示すとおりである。

計画目標の達成状況を達成率%（増加目標の場合：現状値／目標値×100、抑制・削減目標の場合：目標値／現状値×100）でみると、家畜ふん尿を除く産業廃棄物では、排出量は減少傾向にあるが、目標は達成していないため、引き続き排出抑制の取組が必要である。また、再生利用量に関しても目標値を達成していない。一方、最終処分量は目標値を達成している状況となっている。

表3-2-3 数値目標の達成率

区分	項目	家畜ふん尿を除く	家畜ふん尿を含む	評価・今後の対応
		達成率(%)	達成率(%)	
	排出量	90.9%	99.6%	■排出量に関しては、目標を達成していない。 ■製造業に関しては、平成26年度以降減少していたが、平成28年度からは再び増加に転じており、平成29年度は約99万トンまで増加し、平成30年度も横ばいで推移しており、早急に排出量を抑制する取組が必要です。一方、建設業は近年減少傾向で推移しており、今後も引き続き排出抑制に取り組んでいく必要があります。
		$(2,014 \div 2,216) \times 100$	$(5,977 \div 6,001) \times 100$	
	再生利用量	88.5%	95.6%	■再生利用量については、目標を達成していない。 ■再生利用の取組に関しては、特に排出量の多い製造業と建設業に関しては、再生利用率が平成28年度実績まではほぼ横ばいに推移してきたが、平成29年度には両業種ともに減少し、平成30年度は少し上昇したものの、引き続き、建設業に関しては90%以上、製造業に関しては40%程度に引き上げる取組が必要です。
		$(802 \div 906) \times 100$	$(3,828 \div 4,005) \times 100$	
	再生利用率	80.5%	95.2%	
		$(36.2 \div 45.0) \times 100$	$(63.8 \div 67.0) \times 100$	
	中間処理による減量	-	111.5%	---
		-	$(2,031 \div 1,821) \times 100$	
	減量率	-	111.1%	
		-	$(33.84 \div 30.47) \times 100$	
	最終処分量	105.9%	105.9%	■最終処分については、目標を達成している。 ■最終処分率に関しては、建設業で年々増加の傾向で推移していたが、平成30年度には減少傾向となっており、今後も引き続き最終処分率を上昇させないために、再生利用・減容化に向けた取組が必要です。製造業に関しては平成28年度以降は増加傾向となっていたが、平成30年度は減少しており、今後も引き続き再生利用・減容化に取り組んでいく必要があります。
		$(151.0 \div 142.6) \times 100$	$(151.0 \div 142.6) \times 100$	
	最終処分率	116.5%	92.6%	
		$(7.50 \div 6.44) \times 100$	$(2.20 \div 2.376) \times 100$	

統計表

- 1 - 1 業種別 - 種類別 - 発生量
- 2 - 1 業種別 - 種類別 - 排出量
- 3 - 1 業種別 - 発生及び処理・処分状況
- 4 - 1 種類別 - 発生及び処理・処分状況
- 4 - 2 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (種類: 無変換)
- 5 - 1 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (宮崎県北部)
- 5 - 2 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (西都・児湯)
- 5 - 3 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (宮崎・東諸県)
- 5 - 4 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (日南・串間)
- 5 - 5 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (都城・北諸県)
- 5 - 6 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (西諸県)
- 6 - 1 業種別 - 種類別 - 発生量 (特管)
- 6 - 2 業種別 - 種類別 - 排出量 (特管)
- 6 - 3 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (特管)
- 7 - 1 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (農業を含む)

表4-1 種類別一発生及び処理・処分状況【平成30年度】（家畜ふん尿を除く）

(その1)

(単位：t/年)

区 分 種 類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量																																																																										
	(A) (B+C)		(B)		(C) (D+E)		(D)		(E)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(E4)		(E5)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(G4)		(G5)		(H) (I+K+J)		(I) (E2+G2)																																																												
	2,323,013		107,229		2,215,785		1,060,445		111,356		52,893		1,577		50,588		7,370		2,800		15,373		1,155,340		14,274		39,349		1,030,266		70,409		0		1,199,529		40,926		40,926																																																										
	17,888		2,315		15,373		4,871		8		2,063		2,800		15,373		213,724		18,490		242,561		203,465		15,554		14,628		14,443		143		41		244		497		77,637		34,804		51,912		46,467		5,445		1,784		65,654		2,187		36,827		1,397		21		9,341		47,068		35,518		451,010		249,299		184,913		16,797		51,593		373		3,799		4,172		51,593		12,908		31,385		5,549		628		21,932		2,297		1,039
燃え殻	930,578	542	930,036	716,336	34,417	5,373	120	27,372	1,552	2	180,813	2	179,805	1,008	15,554	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																				
汚泥	824,443	542	824,443	643,630	25,171	2,519	2	22,650	2	180,813	2	179,805	1,008	15,554	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
有機性汚泥	106,135	542	105,592	72,706	9,246	2,855	120	4,722	1,549	32,911	206	749	17,482	39,095	15,554	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																				
無機性汚泥	51,824	4,920	46,904	31,395	593	547	50	50	50	15,508	6	15,498	6	15,554	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
油	15,730	1,103	14,628	30	30	30	30	30	30	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
一般廃油	145	1	144	1	144	1	144	1	144	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
廃溶剤	42	42	42	42	42	42	42	42	42	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
固形油	33,669	3,816	29,852	29,608	547	547	4	4	4	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
油でい	2,238	2,238	2,238	1,757	16	16	16	16	16	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
油付着物類	308,670	191	308,479	230,886	24,516	11,178	13,338	13,338	13,338	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
廃酸	34,804	34,804	34,804	34,804	34,804	34,804	34,804	34,804	34,804	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
廃アルカリ	59,771	6,782	52,990	1,157	174	108	1,011	1,011	1,011	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
廃プラスチック類	53,071	6,509	46,562	174	174	108	1,011	1,011	1,011	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
廃プラスチック	6,700	272	6,428	983	13	13	13	13	13	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
廃タイヤ	2,435	639	1,796	13	13	13	13	13	13	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
紙くず	156,355	49,888	106,467	40,775	5,997	5,009	985	38	38	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,973	9,708	51,912	220	220	35,528	9,708	46,467	220	220	5,445	1,784	65,654	2,187	36,827	1,397	21	9,341	47,068	35,518	451,010	249,299	184,913	16,797	51,593	373	3,799	4,172	51,593	12,908	31,385	5,549	628	21,932	2,297	1,039																																					
木くず	9,076	6,888	2,187	2,187	2,187	2,187	2,187	2,187	2,187	14,598	4	14,594	4	14,628	14,628	143	41	244	481	77,593	13,294	34,804	0	220	40,9																																																																								

表4-2 種類別（中間処理による物質変換をしないタイプ）－発生及び処理・処分状況【平成30年度】（家畜ふん尿を除く）

（その1）

（単位：t/年）

区 分 種 類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量																	
	(A) (B+C)		(B)		(C) (D+E)		(D)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(E4)		(E5)		(G)		(G1)		(G2)		(H) (I+K+J)		(I) (E2+G2)											
											再生利用量		自己最終 処分量		委託中間 処理量		委託直接 最終処分量		その他量				再生利用量		自己最終 処分量		委託中間 処理量		委託直接 最終処分量		その他量									
合計	2,323,013	107,229	2,215,785	1,060,445	128,195	52,893	1,577	67,397	7,370	1,155,340	14,274	39,349	1,030,266	70,409	0	1,216,368	40,926	40,926	890	890	213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
燃え殻	17,888	2,315	15,373							15,373		890	12,721	1,762		15,373					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
汚泥	930,578	542	930,036	716,336	53,777	3,521	120	47,899	2,238	52,893	3,521	120	47,899	2,238		52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
有機性汚泥	824,443		824,443	643,630	46,495	2,519		43,288	688	52,893	2,519		43,288	688		52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
無機性汚泥	106,135	542	105,592	72,706	7,282	1,002	120	4,611	1,549	52,893	1,002	120	4,611	1,549		52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
漆油	51,824	4,920	46,904	31,395	600	547		57		52,893	547		57			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
一般廃油	15,730	1,103	14,628	30	30			30		52,893			30			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
廃溶剤	145	1	144							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
固形油	42		42							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
油でい	33,669	3,816	29,852	29,608	554	547		11		52,893	547		11			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
油付着物類	2,238	2,238	1,757	16	16			16		52,893	16		16			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
硫酸	308,670	191	308,479	230,886	26,479	13,030	0	13,449		52,893	13,030	0	13,449			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
廃アルカリ	34,804		34,804							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
廃プラスチック類	59,771	6,782	52,990	1,157	619	108		1,456		52,893	108		1,456			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
廃プラスチック	53,071	6,509	46,562	174	174	108		1,011		52,893	108		1,011			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
廃タイヤ	6,700	272	6,428	983	445	445		445		52,893	445		445			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
紙くず	2,435	639	1,796	13	8	8		8		52,893	8		8			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
木くず	156,355	49,888	106,467	40,775	10,095	5,009	985	1,649	2,487	52,893	5,009	985	1,649	2,487		52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
繊維くず	9,076	6,888	2,187							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
動植物性残さ	45,133	4,084	41,048	4,422	1,445	1,323		122		52,893	1,323		122			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
動物系固形不要物	1,397		1,397							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
ゴムくず	21		21							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
金属くず	40,439	30,953	9,487	146	146	76		76		52,893	76		76			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
ガラス・セラミック・陶磁器くず	49,802		49,802	2,734	2,734	89		89	2,646	52,893	2,734		89	2,646		52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
銅さい	35,518		35,518							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
がれき類	483,559		483,559	32,549	32,260	29,246	465	2,549		52,893	29,246	465	2,549			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
コンクリート片	262,370		262,370	13,071	12,809	11,012	465	1,332		52,893	11,012	465	1,332			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
廃アスファルト	204,392		204,392	19,479	19,451	18,234		1,217		52,893	18,234		1,217			52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
その他	16,797		16,797							52,893						52,893					213,700	206	749	194,255	18,490	263,750	869	869	180,813	179,805	1,008	224,789	32,887	206	749	14,450	17,482	38,961	869	869
ばいじん	51,593		51,593																																					

表5-2 種類別一発生及び処理・処分状況【平成30年度】（農業を除く）〈西部・児湯〉

(その1)

(単位：t/年)

区分 種類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量		自己中間処理後量		自己未処理量		自己最終処分量			
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+E)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	自己中間処理後の処理内訳		(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量	(E5) その他量	(G) 再生利用量	自己未処理の処理内訳		
							(E1) 再生利用量	(E2) 自己最終 処分量						(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量	(E5) その他量
	(H+I)	(H)	(I)	(J+K)	(J)	(K)	(L)	(M+N)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)
合計	203,581	12,793	190,788	67,997	4,617	1,853	2,764	122,791	106,295	3,168	112,227	13,328	112,227			
燃え殻	961		961					961	761	200	961		961			
汚泥	59,810		59,810	52,507	4,617	1,853	2,764	7,303	7,020	283	10,068		10,068			
有機性汚泥	57,802		57,802	52,476	2,622		2,622	5,326	5,255	70	7,948		7,948			
無機性汚泥	2,009		2,009	31	1,995	1,853	142	1,978	1,765	213	2,120		2,120			
漆油	584	151	433					433	433		433		433			
一般廃油	567	151	416					416	416		416		416			
廃溶剤	13		13					13	13		13		13			
固形油																
油でい																
油付着物類	4		4					4	4		4		4			
硫酸	45,526	13	45,514	15,491				30,023	16,729		16,729		16,729			
廃アルカリ	1,314		1,314					1,314	1,314		1,314		1,314			
廃プラスチック類	4,399	282	4,117					4,117	3,739	379	4,117		4,117			
廃プラスチック	4,247	282	3,966					3,966	3,587	379	3,966		3,966			
廃タイヤ	152		152					152	152		152		152			
紙くず	147		147					147	138	9	147		147			
木くず	11,803	2,763	9,040					9,040	8,966	74	9,040		9,040			
繊維くず	38		38					38	33	5	38		38			
動物性残渣	12,112	3,258	8,854					8,854	8,854		8,854		8,854			
動物系固形不燃物																
ゴムくず																
金属くず	6,982	6,306	676					676	676		676		676			
ガラス・セラミック・陶磁器くず	3,608		3,608					3,608	3,031	577	3,608		3,608			
銅さい	663		663					663	663		663		663			
がれき類	53,322		53,322					53,322	52,247	1,074	53,322		53,322			
コンクリート片	24,490		24,490					24,490	23,713	776	24,490		24,490			
廃アスファルト	28,442		28,442					28,442	28,378	64	28,442		28,442			
その他	390		390					390	156	234	390		390			
ばいじん	77		77					77	77		77		77			
畜畜ふん尿																
畜畜の死体																
その他産業廃棄物	2,234	19	2,215					2,215	1,614	567	2,181		2,181			
感染性廃棄物	103		103					103	103		103		103			
コークス固形化物(13号)																
石綿含有廃棄物	162		162					162	73	89	162		162			
安定型混合廃棄物	1,851		1,851					1,851	1,410	428	1,838		1,838			
管理型混合廃棄物	94		94					94	25	48	74		74			
混合物等	24	19	4					4	3	1	4		4			

表5-2 種類別一発生及び処理・処分状況【平成30年度】（農業を除く）〈西部・児湯〉

区 分 種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)									
	(K) (O-L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)	(R)	(S)			(T)	(U)										
	事業者	自治体	県内	県外	事業者	自治体	県内	県外	事業者	自治体	県内	県外	事業者	自治体	県内	県外	事業者	自治体	県内	県外	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)				
合計	112,227	3,168	3,168	3,168	109,059	109,059	1,409	90,383	88,351	2,032	103,532	5,200	5,200	5,200	116,324														
燃え殻	961	200	200	200	761	761	761	1,486	360	1,125	360	1,325	360	1,325	360														
汚泥	10,068	283	283	283	9,785	9,785	17	1,650	1,635	15	3,487	298	298	3,487															
有機性汚泥	7,948	70	70	70	7,877	7,877	1	1,115	1,110	5	1,110	75	75	1,110															
無機性汚泥	2,120	213	213	213	1,907	1,907	16	535	525	10	2,378	222	222	2,378															
漆油	433				433	433	224	231	231		231			231															
一般廃油	416				416	416	200	231	231		231			231															
廃溶剤	13				13	13	8																						
固形油																													
油でい																													
油付着物類	4				4	4																							
硫酸	16,729				16,729	16,729	94	16,726	16,726		30,020			30,020															
廃アルカリ	1,314				1,314	1,314	6	1,169	1,167	1	1,167	1	1	1,167															
廃プラスチック類	4,117	379	379	379	3,739	3,739	160	2,937	2,818	119	2,818	497	497	3,100															
廃プラスチック	3,966	379	379	379	3,587	3,587	79	2,866	2,747	119	2,747	497	497	3,029															
廃タイヤ	152				152	152	81	71	71		71			71															
紙くず	147	9	9	9	138	138		86	86	0	86	9	9	86															
木くず	9,040	74	74	74	8,966	8,966		6,178	5,874	304	5,874	378	378	8,637															
繊維くず	38	5	5	5	33	33		4	3	1	3	6	6	3															
動物性残渣	8,854				8,854	8,854	69	2,854	2,854		2,854			6,112															
動物系固形不要物																													
ゴムくず																													
金属くず	676				676	676	18	632	493	139	493	139	139	6,799															
ガラス・コカイト・陶磁器くず	3,608	577	577	577	3,031	3,031	11	3,028	2,899	129	2,899	706	706	2,899															
銅さい	663				663	663		663	663		663			663															
がれき類	53,322	1,074	1,074	1,074	52,247	52,247	68	51,152	51,093	60	51,093	1,134	1,134	51,093															
コンクリート片	24,490	776	776	776	23,713	23,713		23,676	23,657	19	23,657	795	795	23,657															
廃アスファルト	28,442	64	64	64	28,378	28,378		27,321	27,321		27,321	64	64	27,321															
その他	390	234	234	234	156	156		156	115	41	115	275	275	115															
はいじん	77				77	77		77	77		77			77															
畜畜ふん尿																													
畜畜の死体																													
その他産業廃棄物	2,181	567	567	567	1,614	1,614	2	1,511	1,372	138	1,406	705	705	1,426															
感染性廃棄物	103				103	103																							
コカイト固形化物(13号)																													
石棉含有廃棄物	162	89	89	89	73	73		73	43	30	43	119	119	43															
安定型混合廃棄物	1,838	428	428	428	1,410	1,410		1,409	1,322	87	1,335	515	515	1,335															
管理型混合廃棄物	74	48	48	48	25	25		25	4	21	25	70	70	25															
混合物等	4	1	1	1	3	3	2	3	3	0	3	1	1	22															

(単位：t/年)

表5-4 種類別一発生及び処理・処分状況【平成30年度】（農業を除く）〈日南・串間〉

(その1)

(単位：t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				
				自己中間処理後量				自己未処理の処理内訳				搬出量				
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)	
															県内	県外
(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	
合計	152,454	16,359	136,095	68,861	7,763	1,232	3,885	2,646	67,234	18	4,106	57,750	5,359	73,746	4,106	4,106
燃え殻	4,904		4,904						4,904		890	3,995	19	4,904	890	890
汚泥	71,133	542	71,133	64,984	86		86		6,149		749	5,373	27	6,235	749	749
有機性汚泥	69,838		69,838	64,984	86		86		4,854			4,833	21	4,940		
無機性汚泥	1,837	542	1,295						1,295		749	540	6	1,295	749	749
漆油	132	42	90						90			90				
一般廃油	130	41	89						89			89				
廃溶剤	1	1														
固形油																
油でい																
油付着物類	1		1						1							
硫酸	2,791			2,791					2,791		2,791			2,791		
廃アルカリ	1			1					1		1			1		
廃プラスチック類	1,628	173	1,455						1,455		1,203	252		1,455		
廃プラスチック	1,548	173	1,375						1,375		1,123	252		1,375		
廃タイヤ	80		80						80		80			80		
紙くず	655	639	16						16		16			16		
木くず	5,228	1,998	3,230	1,232	1,232	1,232			1,998		1,998			1,998		
繊維くず	8		8						8		7	0		8		
動物性残さ	7,188		7,188						7,188		7,188			7,188		
動物系固形不燃物																
ゴムくず	0		0						0		0			0		
金属くず	13,040	12,957	83						83		34	49		83		
ガラス・セラミック・陶磁器くず	5,686		5,686	2,646	2,646				3,041		1,067	1,974		5,686		
銅さい																
がれき類	31,030		31,030						31,030		30,664	326		31,030	41	41
コンクリート片	15,262		15,262						15,262		15,185	77		15,262		
廃アスファルト	14,171		14,171						14,171		14,171			14,171		
その他	1,597		1,597						1,597		1,307	249		1,597	41	41
ばいじん	4,946		4,946		3,799		3,799		4,946		2,518			8,745	2,427	2,427
養畜ふん尿																
養畜の死体																
その他産業廃棄物	3,541	8	3,534						3,534	18	803	2,712		3,516		
感染性廃棄物	775		775						775		775			775		
コーク・不固形化物(13号)																
石綿含有廃棄物	3		3						3		3			3		
安定型混合廃棄物	2,627		2,627						2,627	18	15	2,594		2,609		
管理型混合廃棄物	126		126						126		11	115		126		
混合物等	10	8	3						3		2	1		3		

表5-5 種類別一発生及び処理・処分状況【平成30年度】（農業を除く）（都城・北諸県）

（その1）

（単位：t/年）

区分 種類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量		自己中間処理後量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量		自己最終処分量		
	(A) (B+C)		(B)		(C) (D+E)		(D)		(E)		(F+G)		(G)		(H)		(I)		(J+K+L)		(M)		(N+O)		
	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託直接 最終処分量 (E5)	その他量 (E6)	再生利用量 (F1)	自己最終 処分量 (F2)	自己最終 処分量 (F3)	委託中間 処理量 (F4)	委託直接 最終処分量 (F5)	その他量 (F6)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	自己最終 処分量 (G3)	委託中間 処理量 (G4)	委託直接 最終処分量 (G5)	その他量 (G6)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)
合計	561,183	45,572	515,612	280,263	37,027	19,260	120	17,610	37	235,349	84	227,346	7,920	253,032	120	120			253,032	120	120				
燃え殻	1,269		1,269	476				445	31	1,269		437	832						1,745						
汚泥	144,949		144,949	58,301	5,347		120	5,221	6	86,648		85,768	880					91,995		120					
有機性汚泥	140,317		140,317	55,503	4,905		120	4,905	6	84,814		84,280	534					89,719							
無機性汚泥	4,632		4,632	2,798	443		120	317	6	1,834		1,488	346					2,276		120					
廃油	1,750		336	1,414	30		30	30		1,384		1,379	6					1,414							
一般廃油	1,657		265	1,392	30		30	30		1,362		1,358	4					1,392							
廃溶剤	9		9							9		9						9							
固形油	1		1							1		1						1							
油でい	81		71							10		10						10							
油付着物類	2		2							2		2						2							
硫酸	220,794		220,794	180,373	11,738			11,738		40,421		40,421	0					52,159							
廃アルカリ	8,062		8,062							8,062		8,062	0					8,062							
廃プラスチック類	12,880		1,212	11,667	983					10,684		7,437	3,248					10,684							
廃プラスチック	11,606		940	10,666						10,666		7,419	3,248					10,666							
廃タイヤ	1,273		272	1,001	983					18		18						18							
紙くず	185		185							185		181	4					185							
木くず	69,904		40,855	29,048	19,680					9,369		9,351	18					9,369							
繊維くず	1		1							1		0						1							
動物性残渣	6,629		229	6,400	2,242	781	659	122		4,158		3,973	186					4,281							
動物系固形不要物	1,128		1,128							1,128		1,128						1,128							
ゴムくず	3,554		2,938	615						615		377	239					615							
金属くず	6,389		6,389							6,389		5,535	854					6,389							
ガラス・セラミック・陶磁器くず																									
錆さい																									
がれき類	81,301		81,301	18,655	18,601			54		62,646		61,477	1,169					62,700							
コンクリート片	31,244		31,244	2,607	2,553			54		28,637		28,210	427					28,691							
廃アスファルト	48,330		48,330	16,048	16,048					32,282		32,273	9					32,282							
その他	1,727		1,727							1,727		994	733					1,727							
ばいじん	33		33							33		33						33							
発着ふん尿																									
畜舎の死体																									
その他産業廃棄物	2,356		2,356							84		1,789	483					2,273							
感染性廃棄物	1,473		1,473							1,473		1,472	2					1,473							
コソカト固形化物(13号)																									
石綿含有廃棄物	7		7							7		4	3					7							
安定型混合廃棄物	581		581							581		293	227					520							
管理型混合廃棄物	288		288							288		15	252					266							
混合物等	6		6							6		6	0					6							

表7-1 種類別一発生及び処理・処分状況【平成30年度】（農業を含む）

区 分 種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理量					再生利用量 (E1+G1+H1)	(Q) (I+O+H2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)									
	(K) (O+L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R)	(Q)	(01)			(02)	(03)										
	(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R)	(Q)	(01)	(02)	(03)												
	(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(R)	(Q)	(01)	(02)	(03)												
合計	1,332,738	77,779	77,584	195	77,726	53	1,254,960	1,253,803	115	1,136,778	118,181	854,566	830,668	23,898	32,357	3,753	32,357	3,753	40,926	195	101,482	0	4,250,414						
燃え殻	19,346	4,563	4,563		4,555	8	14,784	14,784		4,736	10,048	36,110	32,357	3,753					897		8,316		34,672						
汚泥	241,692	20,042	19,864	178	20,042		221,660	221,660		200,749	20,902	54,558	53,153	1,404					869	178	21,268		59,275						
有機性汚泥	203,465	1,010	1,010		1,010		202,455	202,455		192,804	9,651	26,007	25,799	208							1,219		28,318						
無機性汚泥	38,227	19,031	18,853	178	19,031		19,196	19,196		7,945	11,250	28,550	27,354	1,196					869	178	20,049		30,957						
廃油	15,554	6	6		6		15,549	15,544		7,656	7,893	7,552	7,320	232							238		12,788						
一般廃油	14,628	4	4		4		14,623	14,623		6,990	7,633	7,016	6,832	184							188		7,935						
廃溶剤	144	1	1		1		143	143		42	101	1	1								1		2						
固形油	42	1	1		1		41	41		41	1	23	23								24								
油でい	244						244	240		190	54	206	196	10							10		4,560						
油付着物類	497						497	497		393	105	306	291	15							15		291						
廃酸	77,637	0	0		0		77,637	77,637		71,912	5,725	66,949	66,949								0		91,612						
廃アルカリ	34,804	0	0		0		34,803	34,803		27,630	7,173	5,980	5,891	89							89		5,891						
廃プラスチック類	51,692	9,708	9,706	2	9,706	2	41,984	40,979	59	37,660	4,324	28,059	26,128	1,931					220	2	11,637		33,018						
廃プラスチック	46,247	9,708	9,706	2	9,706	2	36,539	35,534	59	33,650	2,889	22,698	20,780	1,918					220	2	11,624		27,398						
廃タイヤ	5,445						5,445	5,445		4,010	1,435	5,361	5,348	13							13		5,620						
紙くず	1,763	31	31		31		1,752	1,752	1	1,693	59	1,269	1,265	5							36		1,904						
木くず	65,657	257	257		257		65,399	65,364		63,936	1,464	44,840	43,023	1,817					985		2,074		97,920						
繊維くず	2,187	45	45		45		2,142	2,142	0	2,140	2	1,668	1,637	31							76		8,526						
動物性残渣	36,749	186	186		186		36,563	36,563		30,538	6,026	11,531	11,531								186		16,938						
動物系固形不要物	1,397						1,397	1,397		1,128	269	1,128	1,128										1,128						
ゴムくず	21	20	20		20		1	1	0	1	0	0	0								21								
金属くず	9,408	1,109	1,095	15	1,109		8,298	8,292	0	7,878	420	7,664	7,009	655					3	15	1,750		38,038						
ガラス・セラミック・陶磁器くず	49,699	16,663	16,663		16,621	41	33,037	32,982	55	32,460	577	31,412	28,826	2,586					102		19,249	0	28,826						
錆さい	671	8	8		8		663	663		663	663	663	663								8		663						
がれき類	453,473	13,589	13,589		13,589		439,885	439,885		437,886	1,999	432,733	427,336	5,396					518		18,985		456,614						
コンクリート片	250,623	3,797	3,797		3,797		246,826	246,826		245,407	1,419	246,758	243,437	3,321					465		7,119		254,456						
廃アスファルト	186,106	146	146		146		185,960	185,960		185,786	174	178,878	178,375	504					650		650		196,633						
その他	16,744	9,645	9,645		9,645		7,099	7,099		6,693	406	7,096	5,525	1,571					53		11,217		5,525						
ばいじん	53,337	374	374		374		52,963	52,963		2,489	50,474	9,218	9,218						2,427		374		9,218						
畜畜ふん尿	174,136						174,136	174,136		174,136		95,774	95,774						58				3,341,126						
畜畜の死体	12,850						12,850	12,850		12,850		3,855	3,855						58				3,855						
その他産業廃棄物	30,644	11,178	11,178		11,176	2	19,466	19,416		19,301	165	13,602	7,603	5,999							17,177		8,403						
感染性廃棄物	5,549	2	2		2		5,548	5,498		5,545	3										2								
コソカ・下固形化物(13号)	628	464	464		461	2	164	164		161	3	164	93	71							535		93						
石綿含有廃棄物	21,526	9,561	9,561		9,561		11,965	11,965		11,964	1	11,650	6,853	4,796							14,357		7,260						
安定型混合廃棄物	1,963	1,061	1,061		1,061		901	901		901	1	901	364	537							1,599		698						
管理型混合廃棄物	979	91	91		91	0	888	888		731	157	887	292	594							685		352						
混合物等																													

(単位：t/年)